

令和9年度

総合型選抜A (一般)・(特別) 学生募集要項



峰ヶ丘講堂（大正13年建築）

豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ

宇都宮大学

<https://www.utsunomiya-u.ac.jp>

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1



事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。
早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、顔写真データなど



STEP

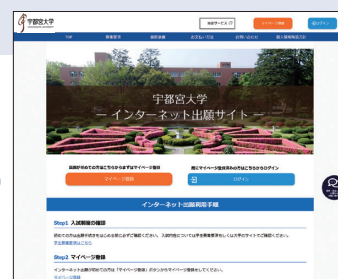
2



インターネット出願サイトにアクセス

インターネット
出願サイトURL

<https://e-apply.jp/ds/utsunomiya-u/>



STEP

3



マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
「**マイページへ**」を
クリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、「**出願手続きを行う**」ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので「**ログアウト**」ボタンをおしてください。

STEP

4



出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
「**出願手続きを行う**」ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード
「**写真選択へ**」ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



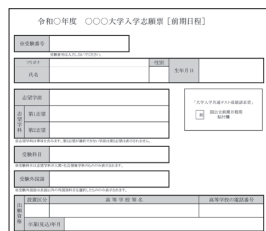
⑥出願内容の確認
「**志願票(サンプル)**」ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。



⑦申込登録完了
「**引き続き支払う**」ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエ
ンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁)

5 8 0 2 1 ※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願
内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニ、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

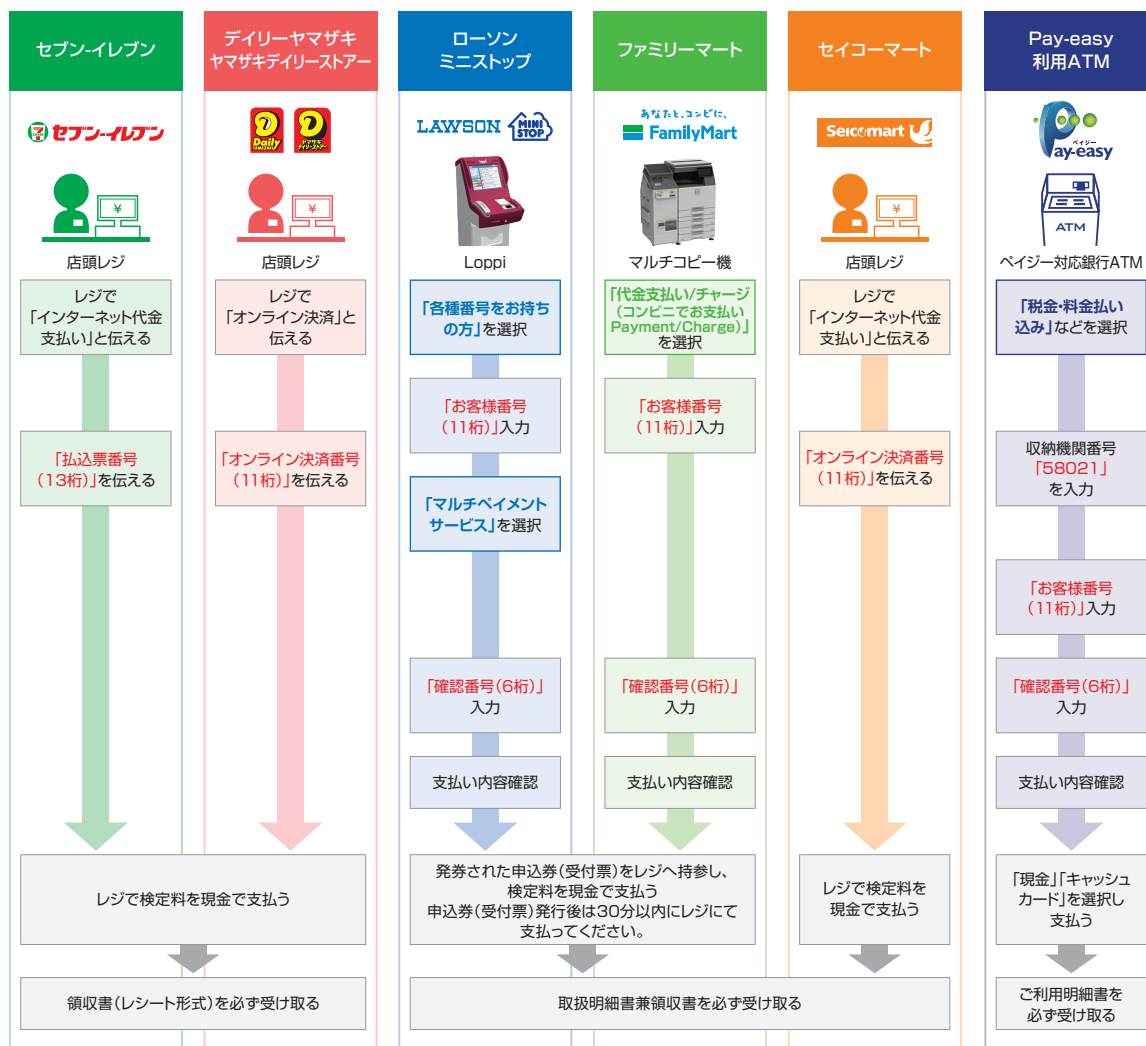
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、
内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



4 銀行ATM

STEP

6



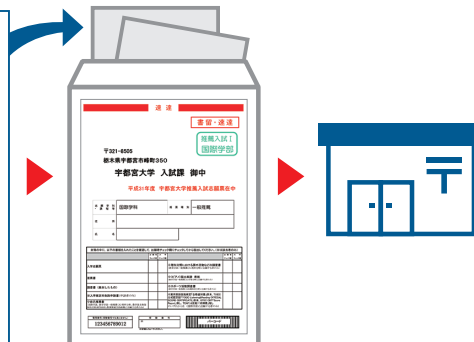
必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て**カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「**書留・速達郵便**」で郵送してください。

出願に必要な書類は、学生募集要項を参照して準備してください。
インターネット出願サイトから印刷する書類以外にも高校等に請求いただく書類や本学のホームページから様子をダウンロードして作成する書類がありますので、注意してあらかじめ準備をすすめてください。

必要書類

調査書



出願書類提出用宛名シート

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)
に貼り付けて作成

出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した入学検定料・必要書類は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。

「Web志願票」の印刷方法



- (1) マイページに表示された「**願書等の印刷**」のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると「**願書等の印刷**」のボタンがクリックできるようになりWeb志願票の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。出願登録、検定料の支払は出願締切日15時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7



受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。メールが届かない場合でも試験前日までにインターネット出願サイトにログインし、各自で**A4用紙にカラー片面印刷**をして**試験当日に持参**してください。



受験票

氏名: ○○○○
入試: ×××入試

宇都宮大学では、地震、風水害等の災害により被害を受けた受験者の皆さんに対し、入学検定料を免除する制度があります。詳細は、31 ページをご覧ください。また、入学時にも、入学料や授業料の免除・徴収猶予、学生寮の優先的入居などについて、できるだけ配慮を致します。困難な状況が続いていると思いますが、是非とも夢を失わず、真っ直ぐに前を見ながら歩んでください。応援しています。

なお、最終ページに栃木県の高校生を対象とした奨学金のご案内を掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

～個人情報の取扱いについて～

本学では、出願に際し提出いただいた氏名、生年月日、性別、住所、写真、成績その他及び入学試験に関する成績の個人情報は、次の範囲内で利用するとともに適正な管理に努めます。

- ① 入学者選抜、入学手続など入学までの一連の業務
- ② 入学後の修学関係（学生証交付、履修指導、名簿作成等）及び学生生活関連（奨学金、授業料免除等）の業務
- ③ その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務及び統計・分析のための資料作成等

総合型選抜 A（一般）・（特別）入試日程

データサイエンス
経営学部

地域デザイン科学部

コミュニティデザイン学科

建築都市デザイン学科
社会基盤デザイン学科

共同教育学部

工学部

農学部

フロンティア食品科学科
生物生産イノベーション科学科

環境システム科学科
エコロジカル社会経済学科

出願受付

令和8年9月7日(月)～令和8年9月9日(水)
※インターネット出願サイトへの事前登録は令和8年9月1日(火)～

第1次選考
結果発表

令和8年10月16日(金)

第2次選考

令和8年11月28日(土)

(2段階選抜を実施する場合)
【A(一般)のみ】

令和8年9月29日(火)

試験日

令和8年11月28日(土)

令和8年11月28日(土)

令和8年10月10日(土)

大学入学
共通テスト

令和9年1月16日(土)・17日(日)

合格者発表

令和9年2月10日(水)

令和8年12月9日(水)

令和8年11月1日(日)

入学手続

令和9年2月16日(火)
～
令和9年2月17日(水)

令和8年12月21日(月)
～
令和8年12月22日(火)

《目 次》

1	宇都宮大学の理念と方針、教育目標	1
2	宇都宮大学のアドミッション・ポリシー	1
3	募集人員	22
4	総合型選抜A（特別）「未来デザイン型入試」について	23
5	出願資格	24
6	出願手続	26
(1)	出願方法	26
(2)	出願期間	26
(3)	提出方法・提出先	26
(4)	入学検定料について	27
(5)	事前準備について	27
(6)	出願書類及び記入要領等	28
(7)	入学検定料免除について	31
(8)	受験票の印刷	32
7	疾病・負傷や障がい等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談	33
8	選抜の方法及び選抜日程等	33
(1)	選抜の方法	33
(2)	総合型選抜A（一般）・（特別）の入学志願者に課する教科・科目名及び配点	47
(3)	第2次選考及び入学試験の日時及び試験場	53
(4)	第2次選考及び入学試験の時間割	53
9	受験上の注意事項	55
10	入試過去問題の使用について	56
11	合格者発表	57
12	合格者への諸注意	58
13	入学手続	59
(1)	手続期間	59
(2)	入学手続時に必要な納付金等	59
(3)	入学後に必要な諸経費	59
(4)	マイナンバーカードの使用について	59
(5)	その他	60
14	その他	60
15	令和8年度総合型選抜A（一般・特別）入学者選抜状況	61
16	試験場案内図	62

《巻 末》

社会基盤デザイン学科のプレゼンテーション内容である「地域社会貢献活動」について	63
栃木県の高校生の皆さんへ 入学応援奨学金（予約型奨学金）のご案内	66

1 宇都宮大学の理念と方針、教育目標

○理念と方針

宇都宮大学は、人類の福祉の向上と世界の平和に貢献することを理念とし、広く社会に開かれた大学として、質の高い特色ある教育と研究を実践するため、次の基本的な方針を定めています。

- 1 幅広く深い教養と実践的な専門性を身につけ、未来を切り開く人材を育成します。
- 2 持続可能な社会の形成を促す研究を中心に、高水準で特色のある研究を推進します。
- 3 地域社会のみならず広く国際社会に学び貢献する活動を積極的に展開します。

この理念と方針を基に、次の「教育目標」を掲げています。

○教育目標

- 1 基盤教育を出発点として、現代社会に必要な汎用的能力（宇大スタンダード）を育成します。
- 2 専門教育を通じて、実践的で専門的な知識と技能を涵養します。
- 3 それらのふたつを有機的に結びつけた4年一貫教育により、幅広い教養と行動的知性を備え、未来の社会を拓き支える人材を育成します。

宇大スタンダード

【論理的思考力】筋道を立てて論理的に物事を考える力

【情報活用力】情報及び情報手段を主体的に選択し、活用する力

【表現力】感情や思考などを伝達可能な形式に表し、効果的・印象的なものとして伝える力

【学修力】一人称で物事を捉え自ら行動し、進んで新しい知識・能力を身に付けようとする力
変化に対応し、自らを変えようとする力

【協働力】チームの中で協力しながら自分の役割や責任を果たす力
多様な人々との繋がりや協働を生み出す力

【課題解決力】多面的な視点から現状を分析し、目的や課題を明らかにする力
課題解決に向けた計画を立案し、自律的に取組む力

2 宇都宮大学のアドミッション・ポリシー

宇都宮大学アドミッション・ポリシー

求める学生像と受入れの基本方針

- 1 未来を切り開いていこうとする夢と情熱を持っている人
- 2 知的好奇心に富み、専門職業人として持続可能な社会の形成や発展に貢献したい人
- 3 教養と専門知識を修得するために必要な基礎的な学力とコミュニケーション力を持っている人

データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

データサイエンス経営学部は、データサイエンスと経営学を総合的に学び、データから価値のある情報を抽出するデータサイエンス力、経営学的視点から課題とその解決策を見つけ出すマネジメント力、データサイエンスと経営学の知識とスキルを、課題解決や意思決定、価値創出に活用できる社会実装力の3つの力を有する次世代人材を育成します。また、「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、データサイエンス力、マネジメント力、社会実装力を身に付けた学生に「学士（経営情報学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拓げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	データサイエンス力、マネジメント力、社会実装力を育成するための3つの分野からなるカリキュラムを提供しています。数理・データサイエンス科目では、数学・統計学・情報学などを学ぶとともに、機械学習やAIを活用してデータから価値ある情報を抽出する力を養います。経営学科科目では、組織などの構造を理解し、経営学的な視点で課題と解決策を見つけ出す力を養います。総合・社会実装科目では、データサイエンスと経営学の知識と技術を活用して社会に実装する力を養います。カリキュラムは基礎的な内容から専門的な内容へ段階的に学修できるように構成されています。	多様化・複雑化した課題を、データを基にして科学的に分析するための、データサイエンスに関する主要な知識と論点を理解することが必要です。また、多様な組織において経営学的視点から課題を見つけ出し、状況に適した柔軟なマネジメントを行うための、経営学に関する主要な知識と論点を理解することが必要です。また、組織の中でデータサイエンス及び経営学の複眼的な視野を持って、多様な価値観を持つ人と協働して課題を解決するためのコミュニケーション能力が不可欠です。さらに、経営課題やそれに関連するデータを体系的に整理し論理的に思考する力、課題解決に向けて主体的に行動できる力が必要です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

データサイエンス経営学科では、理系的な知識と文系的な知識の両方が必要です。高等学校の教科・科目の学習を通して、文系・理系双方の基礎知識をバランスよく身につけてください。論理的な考え方が重要なので、物事を体系的に整理し、矛盾や飛躍のない筋道を立てた考え方ができるように心がけてください。経済、経営、データ分析、情報技術などの話題について、教科学習や日常生活の中から関心を向けてください。また、課外活動などを通じて、多様な価値観を持つ人と協働する力を身に付けるために、積極的に自分の考えを人に伝えるようにしてください。

Ⅲ 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な
能力や適性等

- ① 高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、文理の基礎知識をバランスよく身に付けてきた人
- ② 物事を論理的に考えることができる人
- ③ 多様な人々・組織と協働して、これからの世界や日本、地域社会の創造（創生）に貢献するために、自分の考えを表現し他者に伝えることができる人
- ④ 情報システムを活かした企業経営や起業に意欲がある人
- ⑤ 企業、組織活動、組織経営について数理的に分析することに関心がある人
- ⑥ データ分析、プログラミング、情報ネットワーク等に関心がある人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類（調査書）を総合して選抜を行います。基礎学力、思考力を中心に評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等（面接）の結果、並びに出願書類（調査書）を総合して選抜を行います。基礎学力、コミュニケーション能力、データサイエンス・経営学に対する興味関心を中心に評価します。
総合型選抜 A (一般)	大学入学共通テスト、論述試験、面接及び出願書類により選考を行います。基礎学力、論理的思考力、データサイエンス・経営学に対する興味関心を中心に評価します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性等		
一般 選 抜	前期 日程	大学入学共通テスト	☆☆☆					
		個別学力検査	☆☆☆	☆☆☆	☆☆			
		出願書類（調査書）	○					
	後期 日程	大学入学共通テスト	☆☆☆					
		面接		☆☆	☆☆☆	☆☆☆		
		出願書類（調査書）	○					
総合型 選 抜	A（一般）	大学入学共通テスト※1	☆☆☆					
		面接		☆☆	☆☆☆	☆☆☆		
		論述試験	☆	☆☆☆	☆☆	☆☆☆		
		出願書類（調査書）	○					

※1 総合型選抜で課す大学入学共通テストの教科は、国語、数学及び外国語の3教科のみです。

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

地域社会の成り立ちや課題を理解するために必要な、幅広い教養を身につけるとともに、地域の現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、公共政策、地方自治、経済、経営、自然、文化、食生活、観光、社会福祉、社会教育、NPO等の専門分野を専攻しながら、これらを応用した地域デザイン能力・分析技術を養います。以上の学びを通じ、地域資源を活用して地域に活力を生み出す能力、新たな社会システムを提案する発想力、そして円滑なコミュニケーションや合意形成を図る実践力を身に付け、21世紀の地域社会の担い手として活躍できる学生に「学士（コミュニティデザイン学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拓くため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	学部共通科目では、学科の枠を超えて3学科混成のグループで、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション等を通じて、多様な分野を融合した地域デザイン科学を総合的に学修します。学科専門科目では、公共政策、地方自治、経済、経営、自然、文化、食生活、観光、社会福祉、社会教育、NPO等の専門分野を専攻しながら、これらを応用した地域デザイン能力・分析技術を養います。21世紀の地域社会の担い手として、地域の社会集団や制度等をデザインする人材を育成するために、地域社会の成り立ちや課題を理解するための教養を身につけるとともに、地域のさまざまな現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。	地域の課題や主題について幅広い視点から理解するための人文・社会科学の基礎的な知識、自然科学分野の理解や社会調査データの解析に必要な数理についての基礎的な知識が必要です。また、地域の現状と課題について実践的に学ぶための現場への訪問・実習及び、教員や学生同士の協働的学修の場面に必要な、基礎的なコミュニケーション能力が不可欠です。さらに、問うべき地域社会の問題を自ら設定する課題設定能力、資料・データ・文献を収集する能力、適切な方法を用いてそれらを分析した上で、論理的にまとめる能力、その成果に基づいて説得的に議論を行なう能力、課題解決に関与する実践的行動力を必要とします。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

文理双方の基礎力を身に付けるとともに、理論的知識が、地域社会とどのような関係を持つのかを意識しながら、学習に取り組んでください。また、日々の生活を送り、読書をし、新聞を読み、メディアを視聴する際にも、地域社会の課題を発見し、その課題解決の方法を見いだすように努力してみてください。そしてその成果について、ぜひ友人、家族、先生、身近な人などに、分かりやすく伝えてみましょう。そうした考えに対する他人の意見に耳を傾け、ディスカッションを通じて、協働的にアイデアを深めていく機会を、積極的に経験し作り出すことを期待しています。

Ⅲ 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ① 高等学校の教育課程による広範な基礎的知識を有する人
- ② 地域の成り立ちを理解し、より良いコミュニティの創成を追究するために必要な技能を身に付ける意欲と適性を有する人
- ③ 学際的学修へ向けた論理的思考力と表現力を有する人
- ④ 地域の資源・社会システムの視点から、実践的にまちづくりを学ぶための判断力を身に付ける意欲と適性を有する人
- ⑤ 地域課題の解決に取り組むための主体性とコミュニケーション力を身に付ける意欲と適性を有する人
- ⑥ 地域や社会との関わりの中で多様な人々と協働して学ぶ態度を有する人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、「文系型」又は「理系型」のいずれかにより広く基礎学力をはかります。 個別学力検査等では小論文により、課題文や資料(図表や写真など)の読解、解釈を基に自らの考えを立案する能力、及びそれを論理的に表現する能力を問います。地域社会(コミュニティ)を取り巻く課題に取り組む学力、意欲、関心、主体性について評価します。 出願書類(調査書)では、総合的な観点から評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、「文系型」又は「理系型」のいずれかにより広く基礎学力をはかります。 個別学力検査等では面接により、自らの考えを立案する能力、及びそれを論理的に表現する能力を問います。地域社会(コミュニティ)についての関心と学修意欲、本学科での適性・能力などを評価します。出願書類(調査書)では、総合的な観点から評価します。
総合型選抜 A (一般)	第1次選考として調査書、事前提出書類(活動経験等を踏まえた進学後の学習について)及びその他提出された書類により選考を行います。また、第2次選考として面接、グループディスカッション、大学入学共通テストの成績等を総合して選考を行います。 各選考は「主体性・多様性・協働性」、「思考力・判断力・表現力」、「知識・技能」を総合して判断します。
私費外国人留学生 選 抜	出願書類、日本留学試験の成績、英語外部試験(TOEFL)のスコア、本学の学力検査等(小論文、面接)の結果を総合して選抜を行います。 小論文では、総合的な理解力、思考力、表現力、面接では、コミュニティデザインに関する意欲、問題意識、視野の広さ、将来設計を問います。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆	☆		
		小論文	☆		☆☆☆		☆☆	
		出願書類(調査書)			○			
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆	☆	☆	☆☆
		面接	☆		☆☆		☆☆☆	
		出願書類(調査書)			○			
総合型選抜	A(一般)	大学入学共通テスト(注1)	☆☆☆		☆☆	☆		
		グループディスカッション・面接	☆		☆☆		☆☆☆	
		出願書類(調査書)			○			
		活動経験等を踏まえた進学後の学習について	☆		☆☆☆		☆☆	
私費外国人留学生選抜		英語外部試験	☆☆☆		☆☆	☆		
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆	☆		
		面接			☆☆		☆☆☆	
		小論文			☆☆☆		☆	☆☆
		出願書類(成績証明書等)			○			

(注1) 総合型選抜で課す大学入学共通テストの教科は、国語、数学及び外国語の3教科のみです。

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆☆☆☆☆は、点数・段階評価するもの

地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

従来の建築や空間からの発想に加えて、都市や人々などの社会環境も考慮して、地域の実情に合った生活空間をデザインできる人材を育成します。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、建築・都市デザイン学の基礎を学び一級建築士の国家資格取得に向けた素養を身につけるとともに、先端技術や少子高齢化社会、環境・エネルギー問題、防災・減災へのリスク対策等を学び、現代の社会課題の解決に応用する力・分析技術を養います。以上の学びを通じ、地域資源を活用して地域に活力を生み出す能力、新たな社会システムを提案する発想力、そして円滑なコミュニケーションや合意形成を図る実践力を身に付け、21世紀の地域社会の担い手として活躍できる学生に「学士（工学）」の学位を授与します。卒業と同時に一級建築士の国家試験を受験する資格が得られるカリキュラムです。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基 盤 教 育 科 目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専 門 教 育 科 目	学部共通科目では、学科の枠を超えて3学科混成のグループで、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション等を通じて、多様な分野を融合した地域デザイン科学を総合的に学修します。学科専門科目では、建築・都市デザイン学の基礎を学び、一級建築士の国家資格を取得できる素養を身につけるとともに、建築の先端技術や建築をとりまく社会の構造変化を理解します。また、少子高齢化社会、環境・エネルギー問題、防災・減災へのリスク対策を学び、現代の社会課題の解決に応用する力を養います。さらに、社会をハード・ソフトの両面から支える人材を育成するために、実際の地域課題に取り組むことで建築の仕事に関わる異業種の人々と連携する力を培います。	建築・都市デザインの基礎を学ぶために、高等学校の教育課程による広範な基礎的知識が必要です。また、数学を中心とした理数系科目に関する応用力と、多様な人々と意思疎通をはかるためのコミュニケーション能力が必要です。建築・都市デザインの専門技術を学ぶために、安全・安心で快適な建築空間を創造するために必要な論理的思考力、工学的判断力や、建築設計の基礎となる空間把握能力、表現力、デザイン能力を身に付ける意欲と適性を有している必要があります。また、人間生活・社会・自然を含む地球環境と建築・都市デザインとの関わりや、歴史・文化・芸術を活かした建築・都市空間の創造を追究する態度を有している必要があります。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

文理双方の基礎力を身に付けるとともに、理論的知識が、地域社会とどのような関係を持つのかを意識しながら、学習に取り組んでください。建築の工学的側面を学修するために、[数学]は基礎・応用力が、[理科]は基礎力が重要です。建築の社会的側面や芸術・文化的側面の学修には、[社会]等への関心も求められます。また論理的な文章を構成できる[国語][英語]の基礎力が重要です。設計製図は、入学後に基礎から学ぶため事前に必要な知識・技能はありませんが、主体的に学ぶ姿勢が重要です。これらの基礎力とともに、建築学の学修と社会貢献への高い意欲をもつ方を歓迎します。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ① 高等学校の教育課程による広範な基礎的知識を有する人
- ② 建築・都市デザインの専門技術を学ぶために必要な基礎的技能や、多様な人々と意思疎通をはかるためのコミュニケーション能力を有する人
- ③ 安全・安心で快適な建築空間を創造するために必要な論理的思考力、工学的判断力を身に付ける意欲と適性を有する人
- ④ 建築設計の基礎となる空間把握能力、表現力、デザイン能力を身に付ける意欲と適性を有する人
- ⑤ 人間生活・社会・自然を含む地球環境と建築・都市デザインとの関わりを学ぶ態度を有する人
- ⑥ 歴史・文化・芸術を活かした建築・都市空間の創造を追究する態度を有する人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかります。個別学力検査では広く基礎学力に加え、思考力と論理的に記述し表現する能力を重点的に評価するため、主体的に解答に取り組むことが必要な記述式の問題を多く出題します。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類（調査書）等により評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかります。個別学力検査等では面接により、建築・都市デザインに対する関心度や意欲等を問います。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類（調査書）等により評価します。
総合型選抜 A (一般)	造形実技及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。造形実技では、立体・空間の構成を把握・表現する能力等を検査します。面接では、建築・都市デザインに対する関心度や意欲等を問います。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類（調査書）等により評価します。
私費外国人留学生 選 抜	英語外部試験、日本留学試験及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験では英語の、日本留学試験では日本語、数学及び理科の基礎学力をはかります。個別学力検査等では面接により、建築・都市デザインに対する関心度や意欲等を問います。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類（調査書）等により評価します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		個別学力検査	☆☆		☆☆☆			
		出願書類（調査書）			○			
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		面接	☆	☆☆	☆☆		☆☆☆	
		出願書類（調査書）			○			
総合型選抜 A (一般)		面接	☆	☆☆	☆☆		☆☆☆	
		造形実技	☆☆		☆☆☆			
		出願書類（調査書）			○			
私費外国人 留学生選抜		英語外部試験	☆☆☆					
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
		面接	☆	☆☆	☆☆		☆☆☆	
		出願書類（成績証明書等）			○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

地域社会の成り立ちや課題を理解するために必要な、幅広い教養を身につけるとともに、地域の現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、生活の向上や社会経済の発展を支える社会基盤、すなわち電気・水・情報通信などのライフラインや道路、橋梁、港湾、建設材料、エネルギー施設、河川、環境、防災、マネジメント等の専門分野を専攻しながら、これらを応用した地域デザイン能力・分析技術を養います。以上の学びを通じ、地域資源を活用して地域に活力を生み出す能力、新たな社会システムを提案する発想力、そして円滑なコミュニケーションや合意形成を図る実践力を身に付け、21世紀の地域社会の担い手として活躍できる学生に「学士（工学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編 成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基 盤 教 育 科 目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1) 大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2) 英語や健康、データサイエンス、SDGs など、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3) 自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専 門 教 育 科 目	学部共通科目では、学科の枠を超えて3学科混成のグループで、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション等を通じて、多様な分野を融合した地域デザイン科学を総合的に学修します。学科専門科目では、生活の向上や社会経済の発展を支える社会基盤、すなわち電気・水・情報通信などのライフラインや道路、橋梁、港湾、建設材料、エネルギー施設、河川、環境、防災、マネジメント等の専門分野を専攻しながら、これらを応用した地域デザイン能力・分析技術を養います。21世紀の地域社会の担い手として、地域の社会集団や制度等をデザインする人材を育成するために、地域社会の成り立ちや課題を理解するための教養を身につけるとともに、地域のさまざまな現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。	地域の課題や主題について幅広い視点から理解するための工学・自然科学分野の基礎的な知識、特に数学と物理の基礎的理解と応用力は不可欠です。また、社会科学の理解や社会調査データの解析に必要な数理についての基礎的な知識が必要です。また、地域の現状と課題について実践的に学ぶための現場への訪問・実習及び、教員や学生同士の協働的学修の場面に必要な、基礎的なコミュニケーション能力が不可欠です。さらに、問うべき地域社会の問題を自ら設定する課題設定能力、資料・データ・文献を収集する能力、適切な方法を用いてそれらを分析した上で、論理的にまとめる能力、その成果に基づいて説得的に議論を行なう能力、課題解決に関与する実践的行動力を必要とします。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

文理双方の基礎力を身につけるとともに、理論的知識が、地域社会とどのような関係を持つのかを意識しながら、学習に取り組んでください。理工学教育のための数学や物理、化学など自然科学の基礎力、表現力の基となる国語・英語、社会的基礎知識である歴史や地理、公民など、幅広く学習することを期待します。当学科の入学試験の内容は、道路や鉄道、河川、港湾などインフラ施設や社会基盤をデザインする人材の成長のきっかけとなることを目指した内容になりますが、その多くが主体的に学ぶ姿勢が重要になります。皆さんが学習を通して習得する基礎力とともに、入学後に学ぶ社会基盤整備への関心と社会貢献への高い意欲を持つことを望みます。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ① 社会基盤の専門分野を学ぶ上での基礎となる高等学校までの科目の学習内容を十分理解している人
- ② 高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力を備えている人
- ③ 社会基盤の専門分野に興味と関心があり、科学的、論理的に思考し、判断や表現ができる人
- ④ 学習の熱意や意欲及び行動力をもつ人
- ⑤ 社会全体の利益のために奉仕できる責任感と国内・海外の様々な地域の課題解決のためにグローバルに活躍する意欲がある人
- ⑥ 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度及びそのためのコミュニケーション力が身についている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかり、理科では物理を必須科目としています。個別学力検査等では基礎学力に加え、思考力と論理的に記述し表現する能力を評価するため、主体的に解答に取り組むことが必要な記述式の問題を多く出題します。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかり、理科では物理を必須科目としています。個別学力検査等では、面接により、まちづくり及び社会基盤(インフラ)に関するあなたの考えを問います。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。
総合型選抜 A (一般)	プレゼンテーション、面接を総合して選考を行います。なお、面接では理工学教育を受けるための基礎能力に関する数学と物理の口頭試問を含みます。社会基盤デザイン分野に関する関心度や意欲、問題意識、視野の広さ、希望進路などを問い、総合して判断します。
私費外国人留学生 選 抜	基本的な学力と思考力を備えているかどうかを重視します。 地域における社会基盤デザインに対する熱意と問題解決に対する能力を評価の対象とします。 主体的な姿勢、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般	前期 日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆			
		個別学力検査	☆☆		☆☆☆	☆☆		
		出願書類（調査書）	○					
選 抜	後期 日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆			
		面接			☆☆	☆☆☆		
		出願書類（調査書）	○					
総合型 選抜	A（一般）	プレゼンテーション・面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		出願書類（調査書）	○					
私費外国人 留学生選抜		英語外部試験	☆☆☆					
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
		学力検査	☆☆☆		☆☆	☆		
		面接	☆☆				☆☆☆	
		出願書類（成績証明書等）	○					

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆☆☆は、点数・段階評価するもの

共同教育学部 学校教育教員養成課程 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

本学部は4系13分野（教育・教育心理・特別支援教育・国語・社会・英語・数学・理科・技術・音楽・美術・保健体育・家政）から構成されています。群馬大学との共同教育学部であり、卒業単位のうち一部の授業は双方向遠隔授業システムを使って実施しています。また、2年次、3年次には両大学合同での対面授業も行われます。小学校1種及び所属分野の教科等を主とした中学校・高等学校1種、あるいは特別支援学校1種の教員免許の取得を目指すことができます。学部全体では小・中・高・特別支援学校及び幼稚園の全校種に対応した教員養成プログラムを整備し、多様な教育現場での活躍を視野に学修できる体制を整えています。プログラムにはこれらの教員免許を取得するための授業科目と教育実習等の教育実践科目があります。教育実践科目では附属学校での教育実習をはじめ学校現場での豊富な実践的活動が展開されています。共同教育学部ではこのプログラムで「宇大スタンダード」に定める汎用的能力と専門分野に関する知識・技能を獲得した学生に「学士（教育学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	共同教育学部では、各種教員免許を取得するため、また、実践的指導力のある教員を養成するためのカリキュラムを構成しています。専門教育科目として、全ての学校種の教員としての基礎となる教育原論や教職論等の教育基礎科目、小学校の教科内容・指導法に関する授業科目、中学校・高等学校・特別支援学校の教員免許のための専門知識・技能や指導法の授業科目があります。さらに、学校現場での子どもへの指導や関わりを通して実践力を高める教育実践科目を備えています。	教育基礎科目や小学校の教科内容・指導法に関する科目は、学部の全ての学生が受講します。群馬大学との遠隔授業が多く含まれます。知識を獲得するだけでなく、両大学の学生と共に学び合う意欲や姿勢が求められます。中学校・高等学校・特別支援学校の教員免許のための専門知識・技能や指導法の授業科目では、その教科や学校種の教員になるための強い興味や関心、教科の学力が必要です。教育実践科目では、児童・生徒や学校現場の教員と関わりながら学ぶ意思、使命を持ってやり抜く意欲や態度が求められます。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

「教師」という職業への興味・関心を高めてください。探究活動などで教師の仕事や使命について調べ、省察してみるのも良いでしょう。特定の教科の先生を目指す人は、その教科の知識・技能を磨き、より深く追究してください。教師という仕事の特性から、「人」に興味を持ち、人と関わり合うこと、身近なことから世界のことまで幅広く興味を持ち、視野を広げること、多様なジャンルの読書から学ぶことなども大切です。また、教師はこれからの教育を牽引する職業でもあります。課外活動など、正課の授業だけでは得られない新しい体験にも積極的に臨み、そこから学んだことをよく振り返りましょう。

Ⅲ 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ① 高等学校における履修内容を理解し、教職をめざすために必要な基礎学力を身につけている人
- ② 自己の考えを的確に表現し他者に伝えることができ、他者が表現する考えを受けとることができる人
- ③ ものごとを複数の視点から考察し、自ら判断することができる人
- ④ 「学ぶ」「教える」「育てる」「発達する」という行為・現象について関心があり、これらのことについて学習意欲のある人
- ⑤ 様々な活動に主体的に取り組むことができると共に、他者と協働することができる人
- ⑥ 教職を目指す明確な意思と情熱を有し、子どもの成長に関わることに喜びを感じられる人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト、及び個別学力検査等の結果を総合して各系ごとに選抜を行います。大学入学共通テストでは基礎学力を評価します。個別学力検査等では、教育人間科学系、人文社会系、自然科学系の3つの系で小論文と面接を、芸術・生活・健康系の中の音楽・美術・保健体育分野で実技検査と面接を、家政分野で小論文と面接を課します。面接では全ての系に共通して教職への関心や適性を問います。
総合型選抜 A (一般)	教職に携わる意欲、子どもの発達と教育への関心、それぞれの学校種・教科の教育方法を学ぶために必要な基礎的知識、論理的思考力、表現力、主体性等を多面的・総合的に評価します。 出願書類及び各分野で課す選抜方法を総合して選抜を実施します。
学校推薦型選抜	将来、栃木県の小学校教員として活躍することに強い希望と意思を持ち、小学校教員としての適性を有する人を選抜します。学校教育教員養成課程全体で一つの選抜を行います(※1)。 出願書類と合わせて、面接及び小論文の試験を課します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆				
		面接		☆☆		☆☆	☆☆☆
		小論文 ※2	☆☆	☆☆	☆☆☆		
		実技検査 ※2	☆☆☆				
		出願書類(調査書)					
総合型選抜 A(一般)	前期日程	出願書類(スポーツ活動調査書) ※3	☆☆				
		講義レポート作成 ※4		☆☆☆			
		グループディスカッション ※4			☆☆☆	☆☆	
		小論文 ※4	☆☆	☆☆☆			
		基礎能力試験 ※4	☆☆☆				
		実技検査等 ※4	☆☆☆				
		プレゼンテーション及び面接 ※4	☆☆	☆☆☆	☆☆	☆	☆☆
		面接 ※4	☆☆	☆☆☆	☆☆	☆	☆☆
		出願書類(調査書)					
学校推薦型選抜	前期日程	出願書類(志望理由書)					
		出願書類(受験者本人が記載する活動報告書等) ※5		☆☆☆		☆	
		面接		☆☆	☆☆☆	☆	☆☆☆
		小論文	☆☆	☆☆	☆☆☆		
		出願書類(調査書)					
		出願書類(推薦書)					

※1 入学者の系・分野振り分けは入学時に本人の希望等により決定します。

※2 芸術・生活・健康系音楽分野、美術分野、保健体育分野では実技検査を課します。これら以外の分野では、小論文を課します。

※3 保健体育分野の選抜で課されます。

※4 総合型選抜 A(一般)では各分野ごとに課す検査が異なります。詳細は各選抜の選抜方法を参照ください。

※5 教育分野、英語分野、理科分野、音楽分野及び保健体育分野の選抜で課されます。内容は、各分野ごとに異なります。

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、あるいは合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆☆☆は、点数・段階評価するもの

工学部 基盤工学科

アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

各自の志向に合った専門を極めつつ幅広い知識をも備え、様々な知見と技術を繋いで新しい社会を創出できる技術者を養成します。工学的視点で社会・人間・生命を見つめるための教養と工学に関わる基礎学力を身につけ、種々の技術分野の概要と最新動向に関する知識を得て、各自の志望コース（応用化学、機械システム工学、情報電子オプティクス）を選択します。各々の専門知識を蓄え関連技術を修得しながら、その周辺分野に学修範囲を広げます。さらに「卒業研究」を通して、柔軟な発想で新技術を創生する力と、それを社会へ適用するデザイン力を身につけます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（工学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基 盤 教 育 科 目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専 門 教 育 科 目	1年次には、線形代数・微積分学、物理・化学、データ科学など、工学を学ぶ上で必須の基礎知識を学修します。また、ものづくりを実践する科目、心／身体と工学との結びつきを学ぶ科目、コース入門科目により各専門分野の概要と最新動向に触れ、コース選択の準備をします。 2年次以降、コース専門科目群により各々の高度な専門知識や技能を身につけます。さらに、卒業研究を通じて、問題解決力・デザイン力を養います。また、光工学科目群、分野横断科目群により幅広い専門性を身につけます。	本教育課程に沿って主体的・継続的に学修するためには、高等学校教育課程の特に化学・物理・数学など理数系科目に関する基礎学力を身につけておく必要があります。また、応用化学・機械システム工学・電気電子工学・情報科学・光工学など、工学の専門分野のいずれかに強い興味と関心を持ち、“将来工学技術者として社会に貢献したい”という熱意を持つことが望まれます。さらに、物事を科学的・論理的に思考し判断しようとする姿勢、その経過や結果を他者に適切に伝えようとする姿勢が、社会で活躍できる技術者・研究者に成長するために必要です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

工学の基盤となる概念や法則の学修に備え、「数学」や「理科」等の基礎知識と、それを基に物事を科学的に捉える習慣を身につけましょう。また、実験などの共同作業、レポート作成、研究発表等の機会が頻繁にあるので、「国語」や「英語」で文章の読解力や記述力を身につけ、コミュニケーション力やプレゼンテーション力を養って下さい。課題解決に主体的に取り組み、得られた成果を次の課題設定に活かすという経験も貴重です。加えて、倫理観を備え、地域や人々の多様性を理解し、社会で広く活躍できる技術者・研究者に育つために、地歴公民に関する一般知識や常識を学習しておきましょう。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- 入学時に必要な能力や適性等

① 高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力を備えている人

② 「工学の専門分野*」を学ぶ上で基礎となる高等学校までの科目の学習内容を十分理解している人

③ 科学的、論理的に思考し、判断や表現ができる人

④ 「工学の専門分野*」に興味と関心があり、それを活用した工夫やものづくりによって社会に貢献する熱意や行動力をもつ人

⑤ 主体性をもちつつ、様々な人々と協働して学ぶ姿勢や必要なコミュニケーション力をもつ人
- *「工学の専門分野」とは、化学・機械・情報・電気電子・光工学の各専門分野を指します。

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	「化学系」と「機械・情報電子系」の2つの入試区分にわけて募集します。入試区分毎に定めた配点割合にしたがって、主として共通テストと個別学力検査等(数学・理科・英語)の結果を総合し、入学者を選考します。共通テストの結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。個別学力検査等により、「工学の専門分野*」を学ぶための基礎能力を評価します。
一般選抜 (後期日程)	基盤工学科として一括募集します。主として共通テストと個別学力検査等(小論文)の結果を総合し、入学者を選考します。共通テストの結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。個別学力検査等(小論文)により、「工学の専門分野*」への興味・関心の深さと論理的思考能力を評価します。
総合型選抜 A (一般)	「化学系」と「機械・情報電子系」にわけて募集し、それぞれにおいて出願書類審査(自己推薦書とプレゼンテーション資料の内容)、プレゼンテーションと質疑応答、及び面接の結果を総合して入学者を選考します。プレゼンテーションの内容は、「化学系」では化学あるいは理科全般に関して取り組んだ課題、「機械・情報電子系」では理数系分野に関して取り組んだ課題に関するものとします。またそれに対する質疑応答には、「化学系」では「化学」の、「機械・情報電子系」では「数学」や「物理」の基礎知識の確認も含まれます。面接に関しては、入学後の抱負や勉学に対する意欲などのほか、関連する「工学の専門分野*」への興味と関心の強さをそれぞれ評価します。
総合型選抜 A (特別) 未来デザイン型入試	GSC事業等のプログラムの修了者**を対象として、「化学系」と「機械・情報電子系」にわけて募集し、それぞれにおいて出願書類審査(自己推薦書とプレゼンテーション資料の内容)、プレゼンテーションと質疑応答及び面接の結果を総合して入学者を選考します。プレゼンテーションと質疑応答及び面接は、総合型選抜(一般)と同様に行いますが、それに加えて、未来を切り開いていこうとする夢と情熱を強く持ち、入学後、他の学生を感化し牽引できるようなリーダーシップを有しているかどうかを評価します。
学校推薦型選抜	一般推薦として「化学系」と「機械・情報電子系」の2つの入試区分にわけて募集します。調査書及び基礎能力試験(数学・理科・英語)と面接の結果を総合し、入学者を選考します。調査書及び基礎能力試験の結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。面接により、それぞれの系に関連する「工学の専門分野*」への興味・関心の深さと論理的思考能力を評価します。この他、「機械・情報電子系」では専門高校・総合学科推薦枠でも募集します。選抜方法は一般推薦と同じですが、面接では、高校等における専門分野に関する学習や経験についての試問があります。
私費外国人留学生 選 抜	基盤工学科として一括募集します。主として日本留学試験、英語外部試験及び学力検査(数学・理科)の結果を総合し、入学者を選考します。英語外部試験及び学力検査により、工学部で学ぶための基礎能力を評価します。面接により、「工学の専門分野*」への興味・関心の深さと論理的思考能力などを評価します。

** GSC事業等のプログラムの修了者とは、科学技術振興機構の支援を受けて大学等で実施する高校生等を対象としたグローバルサイエンスキャンパス事業及びそれらの後継事業、ならびに次世代科学技術チャレンジプログラム事業の第一段階修了者を指します。詳細は学生募集要項を参照ください。

2年次からのコース配属に関するルールは入試区分毎に異なります。詳細は右記リンクを御確認下さい。



(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆☆	☆		
		個別学力検査	☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆		
		出願書類（調査書）	○					
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆☆	☆		
		小論文			☆☆☆	☆☆		
		出願書類（調査書）	○					
総合型選抜	A（一般）	プレゼンテーション・面接	☆☆		☆☆☆		☆☆☆	
		出願書類（調査書）	○					
		出願書類（自己推薦書）	☆☆		☆☆☆		☆☆	
	A（特別）	プレゼンテーション・面接	☆☆		☆☆☆		☆☆☆★	
		出願書類（調査書・GSC事業等の修了証）	○					
		出願書類（自己推薦書）	☆☆		☆☆☆		☆☆	
学校推薦型選抜	基礎能力試験		☆☆☆	☆	☆			
	面接				☆☆	☆☆☆	☆☆☆	
	出願書類（推薦書）		○					
	出願書類（調査書）		☆☆		☆		☆☆	
私費外国人留学生選抜	英語外部試験			☆☆☆		☆☆		
	日本留学試験		☆☆☆	☆	☆☆	☆		
	学力検査		☆☆☆		☆☆	☆		
	面接				☆☆	☆☆☆	☆☆☆	
	出願書類（成績証明書等）		○					

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

(iii) ★は、☆に加えて点数・評価に加算のあることを示す。

農学部 フロンティア食品科学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

生物資源のさまざまな可能性、特に嗜好と健康に与える影響について明らかにし、加工による食品の機能強化や生物資源の持続的活用などの科学技術の発展のために、基本的かつ応用的な教育研究を行います。食品や食材などの新しい未来を開拓することで、持続可能で健全な食の推進など農学のポストハーベスト分野で社会に貢献することのできる行動的知性を備えた人材（技術者）を育成します。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編 成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基 盤 教 育 科 目	学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専 門 教 育 科 目	学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。持続可能で健全な食社会を推進する人材を育成するため、以下の専門科目群を開設します。 『食品の材料の科学』科目群：生物資源や食品などの可能性を解明する知識を修得する。 『食品の加工・機能性の科学』科目群：食品の加工による機能強化、生物資源の持続的活用に関する知識を修得する。 『実験・実習・演習』科目群：食品の嗜好、健康への影響の評価に必要な科学的技能を修得する。 『健全な食の科学』科目群：広い視点で、農学関連分野における価値創出力と課題解決力を培う。	食品の加工による機能強化や生物資源の持続的活用など、科学技術発展に貢献する意欲を持っていることが望まれます。食品や食材などの新しい未来の開拓や持続可能で健全な食の推進について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することが出来る基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる筋道をたてて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- 入学時に必要な能力や適性等

①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人

②フロンティア食品科学の基礎となる理科（化学あるいは生物）及び英語などについての基礎的な知識と学力を備えている人

③様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人

④フロンティア食品科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人

⑤常に問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人

⑥農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では理科（化学あるいは生物）及び英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
総合型選抜 A （一般）	出願書類、面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション（以下、GD と略す）、GD のレポートを総合して選抜を行います。本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、主体性、コミュニケーション能力、思考力、表現力を、論述試験では思考力、表現力、フロンティア食品科学で必要とされる基礎学力を、GD では主体性、判断力、協働力、コミュニケーション能力を、レポートでは思考力、判断力を中心に評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
総合型選抜 A （特別） 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーション及び質疑応答を含む面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション（以下、GD と略す）、GD のレポートを総合して選抜を行います。上記の総合型選抜 A（一般）の内容に加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション（5 分）及び質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性及び学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類（成績証明書等）を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆		
		出願書類（調査書）				○		
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		面接			☆☆		☆☆☆	
		出願書類（調査書）				○		
総合型選抜	A（一般）	論述試験	☆☆		☆☆			
		面接			☆☆		☆☆	
		GD・レポート	☆		☆☆		☆	
		出願書類（調査書）				○		
		出願書類（自己推薦書）				○		
	A（特別）	論述試験	☆☆		☆☆			
		面接			☆☆		☆☆	
		GD・レポート	☆		☆☆		☆	
		プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆☆	
		出願書類（調査書）				○		
		出願書類（自己推薦書）				○		
学校推薦型選抜		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		小論文	☆☆	☆	☆☆☆			
		出願書類（推薦書）				○		
		出願書類（調査書）				○		
私費外国人留学生選抜		英語外部試験	☆☆☆					
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		出願書類（成績証明書等）				○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの
(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 生物生産イノベーション科学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

動物・植物・昆虫・微生物・土壌を対象に生物生産の過程や仕組み、生命科学などについて理解を深めるとともに、そこで得た知識を実社会で活用することができるように、アクティブラーニングを導入した教育プログラムを編成しており、農学関連分野においてイノベーションを創出できる行動的知性を備えた人材（技術者）を養成します。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拓げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。生物生産科学の専門性とイノベーションの基礎を修得した人材の育成のため、以下の専門科目群を開設します。 生物生産基礎科目群：生命科学や生物生産を学ぶために必要な自然科学の基礎を修得する。 生物生産応用科目群：生物を解析し、活用するための基礎的な技能や実践的能力を養う。 生物生産基幹科目群：生物生産の観点から生物や農業を取り巻く環境を理解する。 生物生産イノベーション科目群：農学関連産業に直結した実践的な知見と先進的な技術を身につける。	自然科学の基礎理論と、生物生産に関わる基礎知識を理解し、農学における技術革新に貢献する意欲を持っていることが望まれます。農学関連産業の意義と重要性について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる筋道をたてて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

Ⅲ 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- 入学時に必要な能力や適性等

①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人

②生物生産イノベーション科学の基礎となる理科（生物あるいは化学）及び英語などについての基礎的な知識と学力を備えている人

③様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人

④生物生産イノベーション科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人

⑤生物生産イノベーション科学関連分野への関心と問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人

⑥農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では理科（生物又は化学）及び英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
総合型選抜 A （一般）	出願書類、プレゼンテーション及び質疑応答、面接を総合して選抜を行います。プレゼンテーション及び質疑応答では、高等学校などにおける理科全般あるいは生物に関する探究活動について発表し、質問に答えるとともに、他者の発表についても質問してもらい、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、思考力、表現力などを評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
総合型選抜 A （特別） 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーション及び質疑応答、面接を総合して選抜を行います。プレゼンテーション及び質疑応答では、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動について発表し、質問に答えるとともに、他者の発表についても質問してもらい、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、思考力、表現力などを評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
私費外国人留学生 選 抜	英語外部試験、日本留学試験及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性及び学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類（成績証明書等）を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆		
		出願書類（調査書）				○		
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		面接			☆☆		☆☆☆	
		出願書類（調査書）				○		
総合型選抜	A（一般）	プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆	
		面接	☆		☆☆☆		☆☆	
		出願書類（調査書）				○		
		出願書類（自己推薦書）				○		
	A（特別）	プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆	
		面接	☆		☆☆☆		☆☆	
		出願書類（調査書）				○		
		出願書類（自己推薦書）				○		
学校推薦型選 抜		面接	☆☆		☆☆		☆☆	
		小論文	☆☆	☆	☆☆☆			
		出願書類（推薦書）				○		
		出願書類（調査書）				○		
私費外国人留学生選 抜		英語外部試験	☆☆☆					
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		出願書類（成績証明書等）				○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの
(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 環境システム科学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

持続的かつ合理的な流域圏の基盤をデザインするための知識や技術を身につけ、農学分野の課題解決や発展に貢献することのできる行動的知性を備えた人材（技術者）を養成します。2年生後期から、①農業環境工学プログラム、②森林科学プログラムのいずれかに分属し、学科共通の専門領域の学修に加え、それぞれの専門領域について学修します。この2プログラムではそれぞれ、①田園空間の総合的デザインや食料生産環境システムの設計・制御に関わる専門技術者、②森林の木材生産と環境保全に関わる専門技術者の育成が図られます。なお、両プログラムはJABEE（日本技術者教育認定機構）による技術者教育プログラムとしての認定を受けており（予定）、卒業と同時に修習技術者となり、技術士補の国家資格を得ることができます。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。持続的な流域圏の基盤のデザインを担う技術者を育成するために、以下の専門科目群を設置します。 基礎科目群：環境システム科学に関する基礎理論を修得する。 環境基盤系科目群：流域圏の基盤のデザインに関わる基礎知識を修得する。 環境計測系科目群：空間デザインのための技術を修得する。 融合・応用科目群：社会的要求の変化に応じた合理的かつ柔軟な対応を学ぶ。 農業環境工学技術系・森林科学技術系科目群：専攻分野の技術者として社会に貢献するための専門知識・技術を修得する。	自然科学の基礎理論と持続的かつ合理的な流域圏のデザインを理解し、環境問題の解決やデジタル技術の活用に貢献する意欲を持っていることが望まれます。持続可能な流域圏の生産基盤をデザインについて幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

本学科では豊かな流域環境の創出・管理・評価、スマート農林業などを活用した持続的な食料・木材生産、気候変動へのしなやかな対応などに関する学識を身につけ、社会の幅広い分野で活躍できる技術者を育成することを目指しています。高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる筋道をたてて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- 入学時に必要な能力や適性等

①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人

②環境システム科学の基礎となる理科(生物)あるいは数学及び英語などについての基礎的な知識と学力を備えている人

③様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人

④環境システム科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人

⑤環境システム科学関連分野への関心と問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人

⑥農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では理科(生物)又は数学、及び英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
総合型選抜A (一般)	出願書類、面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション(以下、GDと略す)、GDのレポートを総合して選抜を行います。本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、主体性、コミュニケーション能力、思考力、表現力を、論述試験では思考力、表現力、環境システム科学で必要とされる基礎学力を、GDでは主体性、判断力、協働性、コミュニケーション能力を、レポートでは思考力、判断力を中心に評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書等)を使用します。
総合型選抜A (特別) 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーション及び質疑応答を含む面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション(以下、GDと略す)、GDのレポートを総合して選抜を行います。上記の総合型選抜A(一般)の内容に加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション(5分)及び質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書等)を使用します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
私費外国人留学生 選 抜	英語外部試験、日本留学試験及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性及び学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類(成績証明書等)を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆		
		出願書類(調査書)				○		
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		面接			☆☆		☆☆☆	
		出願書類(調査書)				○		
総合型選抜	A(一般)	論述試験	☆☆		☆☆			
		面接			☆☆		☆☆	
		GD・レポート	☆		☆☆		☆	
		出願書類(調査書)				○		
		出願書類(自己推薦書)				○		
	A(特別)	論述試験	☆☆		☆☆			
		面接			☆☆		☆☆	
		GD・レポート	☆		☆☆		☆	
		プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆☆	
		出願書類(調査書)				○		
		出願書類(自己推薦書)				○		
学校推薦型選抜		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		小論文	☆☆	☆	☆☆☆			
		出願書類(推薦書)				○		
		出願書類(調査書)				○		
私費外国人留学生選抜		英語外部試験	☆☆☆					
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		出願書類(成績証明書等)				○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの
(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 エコロジカル社会経済学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

食料やその生産基盤となる農林業に関する問題について、経済学や社会学など社会科学の領域から研究・教育を行います。農業生産や環境負荷、消費者ニーズ、循環社会、政策など幅広い専門知識や理論を理解し、誰一人取り残されことなく、十分な食料を確保し続けられる持続可能なエコロジカル社会に貢献することのできる行動的知性を備えた人材を育成します。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。食、農林業、環境及び経済を分析し、持続可能な社会の構築を担う人材を育成するために、以下の専門教育科目群を設置します。 基礎科目群：社会科学の基礎を修得する。 応用科目群：農学の対象を分析する力を修得する。 演習系科目群：課題発見や解決に資する論理的思考力・判断力や情報収集・分析力を磨く。社会・地域で適切な解決策を見出し、実践できる行動力を身につける。	食料やその生産基盤となる農林業に関する諸問題の解決に貢献する意欲を持っていることが望まれます。環境と社会と経済の持続可能性について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる筋道をたてて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

Ⅲ 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- 入学時に必要な能力や適性等

①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人

②様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人

③エコロジカル社会経済学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人

④常に問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人

⑤農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

⑥エコロジカル社会経済学関連分野への関心を持ち、本分野の発展に貢献する意欲を持っている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「文系型」あるいは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では小論文あるいは数学、及び英語により基礎的な知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「文系型」あるいは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
総合型選抜A (一般)	出願書類、面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション（以下、GDと略す）、GDのレポートを総合して選抜を行います。本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、主体性、コミュニケーション能力、思考力、表現力を、論述試験では思考力、表現力、エコロジカル社会経済学で必要とされる基礎学力を、GDでは主体性、判断力、協働力、コミュニケーション能力を、レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基礎的な知識を中心に評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
総合型選抜A (特別) 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーション及び質疑応答を含む面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション（以下、GDと略す）、GDのレポートを総合して選抜を行います。上記の総合型選抜A（一般）の内容に加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション（5分）及び質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎的な知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験、小論文及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性及び学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類（成績証明書等）を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性等		
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆				
		個別学力検査	☆☆☆	☆☆				
		出願書類（調査書）				○		
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆				
		面接		☆☆			☆☆☆	
		出願書類（調査書）				○		
総合型選抜	A（一般）	論述試験	☆☆	☆☆				
		面接		☆☆			☆☆	
		GD・レポート	☆	☆☆			☆	
		出願書類（調査書）				○		
		出願書類（自己推薦書）				○		
	A（特別）	論述試験	☆☆	☆☆				
		面接		☆☆			☆☆	
		GD・レポート	☆	☆☆			☆	
		プレゼンテーション・質疑応答	☆☆	☆☆☆			☆☆	
		出願書類（調査書）				○		
		出願書類（自己推薦書）				○		
学校推薦型選抜	面接		☆☆	☆☆			☆☆	
	小論文		☆☆	☆☆☆				
	出願書類（推薦書）					○		
	出願書類（調査書）					○		
私費外国人留学生選抜	英語外部試験		☆☆☆					
	日本留学試験		☆☆☆	☆☆				
	小論文		☆☆	☆☆☆				
	面接		☆☆	☆☆			☆☆☆	
	出願書類（成績証明書等）					○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの
(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

3 募集人員

学 部	学 科 ・ 分 野 等			募集人員	
				一般	特別
データサイエンス経営学部	デ ー タ サ イ エ ン ス 経 営 学 科			7名	
地 域 デ ザ イ ン 科 学 部	コ ミ ュ ニ テ ィ デ ザ イ ン 学 科			7名	
	建 築 都 市 デ ザ イ ン 学 科			3名	
	社 会 基 盤 デ ザ イ ン 学 科			5名	
	合 計			15名	
共 同 教 育 学 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	教 育 人 間 科 学 系	教 育	3名	
			教 育 心 理	2名	
			特 別 支 援 教 育	5名	
		人 文 社 会 系	国 語	2名	
			社 会	2名	
			英 語	2名	
		自 然 科 学 系	数 学	5名	
			理 科	5名	
			技 術	3名	
		芸 術 ・ 生 活 ・ 健 康 系	音 楽	3名	
			美 術	2名	
			保 健 体 育	3名	
			家 政	2名	
	合 計			39名	
工 学 部	基 盤 工 学 科	化 学 系	8名	若干名	
		機 械 ・ 情 報 電 子 系	5名	若干名	
	合 計			13名	
農 学 部	フ ロ ン テ ィ ア 食 品 科 学 科			3名	若干名
	生 物 生 産 イ ノ ベ ー シ ョ ン 科 学 科			5名	若干名
	環 境 シ ス テ ム 科 学 科			6名	若干名
	エ コ ロ ジ カ ル 社 会 経 済 学 科			5名	若干名
	合 計			19名	
総	合 計			93名	

(注1) 令和9年度総合型選抜A（特別）の志願者は本学の同じ学部・学科・系の総合型選抜A（一般）との併願が可能です。インターネット出願登録時に「総合型選抜A（一般）」、「総合型選抜A（特別）」、「総合型選抜A（一般）及び総合型選抜A（特別）の併願」のいずれか一つを選択して入力してください。「総合型選抜A（一般）及び総合型選抜A（特別）の併願」を選択した者で、両方とも一定の基準を満たした場合は、総合型選抜A（特別）の合格者としてします。

(注2) 令和9年度総合型選抜A（一般）において、工学部基盤工学科の化学系では入学志願者数が募集人員の1.5倍を超えた場合、機械・情報電子系では入学志願者数が募集人員の2倍を超えた場合、農学部フロンティア食品科学科で入学志願者数が募集人員の3倍を超えた場合、農学部生物生産イノベーション科学科で入学志願者数が募集人員の2倍を超えた場合には、2段階選抜とし第1次選考（書類選考）及び第2次選考（本試験）を行うことがあります（総合型選抜A（特別）の受験者（総合型選抜A（一般）との併願を含む）は対象となりません。）。

第1次選考は、農学部フロンティア食品科学科では調査書・自己推薦書、それ以外の学部学科では調査書・自己推薦書・プレゼンテーション資料に基づいて行います。

2段階選抜の実施有無及び選抜結果(合否)については、本学ホームページにて公表するとともに、下記のとおり志願者全員にお知らせします。

①第1次選考を実施した場合

合格者には、第1次選考実施結果を送付します。

不合格者には、第1次選考実施結果と検定料の一部(13,000円)を返還するための検定料返還手続書類を送付します。

(注3) 工学部基盤工学科については、化学系と機械・情報電子系の2つの系に分けて入学者選抜を実施します。化学系に合格し、入学した者は、2年次より応用化学コースに配属されます。機械・情報電子系に合格し、入学した者は、本人の希望と1年次の成績により機械システム工学コース又は情報電子オプティクスコースに配属されます。

(注4) 総合型選抜A(一般)の入学手続き者が募集人員に満たない場合は、当該不足人員を当該学科・分野等の前期日程の募集人員に加えます。

4 総合型選抜A(特別)「未来デザイン型入試」について

(1) 概要

従来の総合型選抜A(一般)に加えて、本学のiP-U*を含むGSC事業等**の修了者を対象に、新たな総合型選抜(総合型選抜(特別))を実施します。本選抜で求める学生像は、「未来を切り開いていこうとする夢と情熱を強く持ち、本学においてリーダーシップを発揮し、他の学生を感化し牽引できるような資質をもつ者」とします。「工学部基盤工学科化学系」、「工学部基盤工学科機械・情報電子系」及び「農学部各学科」において若干名を募集します。

この選抜での出願にあたっては、他の選抜との併願が可能です。総合型選抜A(一般)との併願の場合は、本学の同じ学部・学科・系のみ併願可能で、両方とも一定の基準を満たした場合は、総合型選抜A(特別)の合格者となります。その他の選抜との併願は、原則として総合型選抜A(一般)に準じます。

* iP-U 科学技術振興機構「グローバルサイエンスキャンパス(GSC)」事業として採択されていた宇都宮大学の科学人材育成プログラム

** GSC事業等 科学技術振興機構の支援を受けて大学等で実施する高校生等を対象としたグローバルサイエンスキャンパス事業及びそれらの後継事業、ならびに次世代科学技術チャレンジプログラム事業

(2) 特典

入学後にその力をさらに高めるための環境として、下記の特典を、この選抜による入学者のみ受けられます。

○各学部共通

- ・経済的な支援：入学金を全額免除します。
- ・研究環境の提供：学生の希望と受入体制の条件が満たされれば、入学後に希望テーマを実施することも可能です。
- ・修学上の優遇：受講できる授業数の上限を緩和します。
- ・「未来デザイン型入試特別選抜生」の称号を付与します。

○工学部のみ

- ・希望コースへの優先配属：2年次のコース分けの際、工学部基盤工学科機械・情報電子系においては希望するコースへ優先的に配属できます。
- ・6年一貫教育プログラム履修生としての登録：所定の条件をクリアすると、希望研究室への早期配属や本学大学院への推薦資格が得られます。

○農学部のみ

- ・研究室への配属：所定の条件をクリアすると、希望研究室への優先的な配属資格が得られます。
- ・本学大学院への推薦：所定の条件をクリアすると、本学大学院への推薦資格が得られます。
- ・国際会議への参加支援：発表指導、参加費の一部補助が受けられます。

5 出願資格

総合型選抜A（一般）

(1) データサイエンス経営学部

次の①、②、③及び④に該当する者としてします。

① 次のいずれかに該当する者

(ア) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業又は令和9年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業見込みの者

(イ) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程を有するとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了又は令和8年度中に修了見込みの者

(ウ) 高等専門学校の第3学年を修了又は令和9年3月修了見込みの者

② 合格した場合は本学に入学することを確約し、入学後、意欲的に勉学に励む者

③ 大学入学共通テストで、本学が指定する教科・科目を受験する者（解答を要する教科・科目については、47ページを参照のこと）（注1）

④ 調査書の学習成績概評がB以上の者（注2）

（注1）大学入試センターからの成績提供により本学が指定する教科・科目を受験していないことが判明した場合は、失格となり、可否の対象となりません。

（注2）卒業（修了）後の規定年数経過等により、出身高等学校等から調査書の発行を受けられない者は、当該高等学校等が発行した「調査書発行不可証明書」及び卒業（修了）証明書を提出してください。

(2) 地域デザイン科学部・共同教育学部・工学部・農学部

次の①及び②に該当し、かつ③の志望学科・分野等の要件の全てを満たす者としてします。

① 次のいずれかに該当する者

(ア) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和9年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者

(イ) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程を有するとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和8年度中に修了又は修了見込みの者

(ウ) 高等専門学校の第3学年を令和9年3月修了見込みの者

② 合格した場合は本学に入学することを確約し、入学後、意欲的に勉学に励む者

③ 各学科・分野等の要件（下表）

学 部	学 科 ・ 分 野 等			要 件
地 域 デザイン 科学部	コ ミ ュ ニ テ ィ デ ザ イ ン 学 科			㊦大学入学共通テストで、本学が指定する教科・科目を受験する者（解答を要する教科・科目については、48ページを参照のこと）（注1） ㊦調査書の学習成績概評がB以上の者
	建 築 都 市 デ ザ イ ン 学 科			㊦調査書の学習成績概評がB以上の者
	社 会 基 盤 デ ザ イ ン 学 科			㊦調査書の学習成績概評がB以上の者
共同教育 学 部 (注2)	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	教 育 人 間 科 学 系	教 育	㊦調査書の学習成績概評がB以上の者
			教 育 心 理	㊦調査書の学習成績概評がB以上の者
			特 別 支 援 教 育	㊦調査書の学習成績概評がB以上の者
	人 文 社 会 系		国 語	㊦調査書の学習成績概評がB以上の者
			社 会	㊦調査書の学習成績概評がB以上の者
			英 語	㊦調査書の学習成績概評がB以上の者

学 部		学 科 ・ 分 野 等		要 件
共同教育学部 (注2)	学校教育教員養成課程	自然科学系	数 学	⑦調査書の学習成績概評がB以上の者 ①調査書の数学の学習成績の状況が4.3以上の者
			理 科	⑦調査書の学習成績概評がB以上の者
			技 術	⑦調査書の学習成績概評がB以上の者
		芸術・生活・健康系	音 楽	⑦調査書の学習成績概評がB以上の者
			美 術	⑦調査書の学習成績概評がB以上の者
			保 健 体 育	⑦調査書の学習成績概評がB以上の者
			家 政	⑦調査書の学習成績概評がB以上の者
工 学 部	基 盤 工 学 科	化 学 系	なし	
		機械・情報電子系	⑦調査書の学習成績概評がB以上の者 ①数学Ⅲ及び物理を履修（見込みを含む）している者	
農 学 部	フ ロ ン テ ィ ア 食 品 科 学 科		⑦調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者	
	生 物 生 産 イ ノ ベ ー シ ョ ン 科 学 科		⑦調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者	
	環 境 シ ス テ ム 科 学 科		⑦調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者	
	エ コ ロ ジ カ ル 社 会 経 済 学 科		なし	

(注1) 大学入試センターからの成績提供により本学が指定する教科・科目を受験していないことが判明した場合は、失格となり、可否の対象となりません。(大学入学共通テストを課す学部・学科のみ)

(注2) 総合型選抜A（一般）において共同教育学部に出願した者は、本学の学校推薦型選抜では共同教育学部に出願することはできません。

総合型選抜A（特別）

次の①、②及び③に該当し、かつ、④の志望学科・系等の要件の全てを満たす者とします。

① 次のいずれかに該当する者

(ア) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和9年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者

(イ) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程を有するとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和8年度中に修了又は修了見込みの者

(ウ) 高等専門学校の第3学年を令和9年3月修了見込みの者

② 合格した場合は本学に入学することを確約し、入学後、意欲的に勉学に励む者

③ 高校生等を対象とした本学 iP-U*を含む GSC 事業**及びそれらの後継事業、あるいは次世代科学技術チャレンジプログラム事業の第一段階修了者

④ 各学科・系等の要件（下表）

学 部	学 科 ・ 分 野 等		要 件
工 学 部	基 盤 工 学 科	化 学 系	なし
		機械・情報電子系	⑦調査書の学習成績概評がB以上の者 ①数学Ⅲ及び物理を履修（見込みを含む）している者
農 学 部	フ ロ ン テ ィ ア 食 品 科 学 科		⑦調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者
	生 物 生 産 イ ノ ベ ー シ ョ ン 科 学 科		⑦調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者
	環 境 シ ス テ ム 科 学 科		⑦調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者
	エ コ ロ ジ カ ル 社 会 経 済 学 科		なし

(注1) 工学部の同じ系及び農学部の同じ学科での総合型選抜A（一般）及び総合型選抜A（特別）の併願を選択した者で、両方とも一定の基準を満たした場合は、総合型選抜A（特別）の合格者としてします。その他の選抜との併願は、原則として総合型選抜A（一般）に準じます。

* iP-U 科学技術振興機構「グローバルサイエンスキャンパス（GSC）」事業として採択されていた宇都宮大学の科学人材育成プログラム

** GSC 事業等 科学技術振興機構の支援を受けて大学等で実施する高校生等を対象としたグローバルサイエンスキャンパス事業

6 出願手続

(1) 出願方法

出願はインターネット出願のみの受付です。出願手続の手順は以下のとおりです。

Step 1	学生募集要項の確認	出願手続を始める前に、この学生募集要項をよく読んで、内容をご確認ください。
Step 2	インターネット出願登録 (詳細は27ページ)	下記のアドレスからインターネット出願サイトにアクセスして必要な情報を入力してください。 (http://e-apply.jp/ds/utsunomiya-u/)
Step 3	入学検定料の支払い (詳細は27ページ)	インターネット出願サイトの指示に従い、入学検定料を支払ってください。
Step 4	必要書類の印刷 (詳細は28ページ)	インターネット出願サイトから必要書類を印刷してください。
Step 5	必要書類の送付	インターネット出願サイト及び本学ホームページから印刷した必要書類と、他の全ての必要書類を出願期間内に本学へ届くよう「書留・速達」で郵送してください。
Step 6	受験票の印刷 (詳細は32ページ)	出願が受理された方は、出願期間後にインターネット出願サイトから受験票を印刷できるようになります。志願者各自が印刷して、必ず試験当日に持参してください。

(2) 出願期間

出願期間	インターネット出願登録 及び入学検定料支払い期限	出願書類到着期限(必着)
令和8年9月7日(月)～9日(水)	9月9日(水)15時	9月9日(水)17時

インターネット出願サイトへの事前登録は令和8年9月1日(火)から可能です。

出願書類到着期限後に到着したものは受理しませんので、郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

(3) 提出方法・提出先

原則として書留・速達郵便による郵送とします。郵送では間に合わないなど、やむを得ない事情がある場合には、出願期間中の9時から17時までに持参してください。

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350
宇都宮大学 学務部入試課

(4) 入学検定料について

入学検定料は17,000円です。インターネット出願サイトの支払い方法を参照して、「コンビニエンスストア」「郵便局・銀行ATM」「インターネットバンキング」「クレジットカード」のいずれかの方法でお支払いください。

総合型選抜A（特別）に出願する受験者で、総合型選抜A（一般）も併願される場合の入学検定料は、1回分の17,000円となります。

入学検定料は、出願書類を受理した後にはいかなる理由があっても返還しません。ただし、下記の対象者には、13,000円を返還します（総合型選抜A（特別）の受験者（総合型選抜A（一般）との併願を含む）は対象となりません。）。

- ・地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科の受験者で、第1次選考の不合格者
- ・工学部基盤工学科、農学部フロンティア食品科学科及び農学部生物生産イノベーション科学科の受験者で、2段階選抜を実施した場合の第1次選考の不合格者（総合型選抜A（特別）の受験者（総合型選抜A（一般）との併願を含む）は対象となりません。）

なお、入学検定料の免除を申請する方は、「(7) 入学検定料免除について」を参照の上、出願登録画面で「入学検定料の免除を申請します」にチェックを入れてください。

(5) 事前準備について

インターネット出願登録の前に、あらかじめ余裕をもって確認及び準備してください。	
パソコン等の準備	インターネット出願は、以下の環境で行ってください。 また、入学志願票等PDF書類の表示・印刷にはアドビシステムズ社が配布しているAdobe Acrobat Readerが必要です。 <利用時推奨ブラウザ> ・Microsoft Edge 最新版 ・Google Chrome 最新版 ・Mozilla Firefox 最新版 ・Apple Safari 最新版 ※ブラウザのタブ機能を使用して複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作はしないでください。 前画面へ戻る場合はブラウザの「戻る」ボタンは利用せず、画面内に表示されている「戻る」ボタンを利用してください。 ※スマートフォン、タブレットを利用する場合は、各OSの標準ブラウザを利用してください。 ※利用しているブラウザで表示が崩れる場合は、他のブラウザにて確認してください。
メールアドレスの用意及びメールの設定	出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 @e-apply.jp 出願時に登録したメールアドレスに、以下の4回メールが送信されます。 ①インターネット出願登録入力中のテストメール ②出願登録情報の入力完了時の自動送信メール ③入学検定料支払完了時の自動送信メール ④受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール ※受験票を印刷するまで、メールアドレスは変更しないでください。

志願者本人写真 (データ)の用意	インターネット出願登録にあたって、顔写真データ（ファイル形式自由、2MBまで）が必要です。 写真は本人確認に使用しますので、出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景なしのカラー写真データを用意してください。 以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合には、出願を受け付けられないことがあるので注意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。
その他必要書類の用意	高等学校等が発行する「調査書」等、インターネット出願サイトから印刷する様式以外の紙媒体の書類を、出願期間に間に合うようあらかじめ用意してください。（「(6)出願書類等」参照）
角形2号封筒の用意	出願書類提出のために、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）を用意してください。
様式印刷の用意 (プリンタ、用紙等)	インターネット出願サイトから出力する様式類は、A4サイズ普通紙にカラー印刷する必要がありますので、カラープリンタ及び印刷用紙（普通紙、PCC用紙、OA共通用紙、コピー用紙等）を用意してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いません。（個人情報の取り扱いには十分注意してください。）

(6) 出願書類等及び記入要領等

出願書類等は、黒のボールペンを用いて楷書で記入してください。ただし、出願書類の＊印の欄は記入しないでください。

表中の「◇」印の書類はインターネット出願登録後にインターネット出願サイトから印刷する書類、「◆」印の書類は、本学ホームページの入試情報のページから様式を印刷して作成する書類です。（入試情報ページ <https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/>）様式の改変は不可となりますので、注意してください。

出願書類等	記 入 要 領 等
◇入 学 志 願 票	インターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷してください。 写真は、インターネット出願ページにて出願前3か月以内に正面向、上半身、無帽、背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。 写真の比率は縦4×横3、ファイルサイズは2MBまでです。
調 査 書	出身学校長が作成し、厳封したもの。 なお、地震、風水害等の影響で学校等が被災し、調査書の必要事項の一部が記入できない、又は調査書そのものが提出できない場合は、必ず9月17日（木）までに学務部入試課へ相談すること。
◆活動経験等を踏まえた 進学後の学習について （地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科）	コミュニティデザイン学科に出願する者のみ提出すること。 出願者が、これまでの学習・経験から、現時点でどのような問題意識、関心を持っているか、そして今後どのように発展させようとするか、以下の三点に分けて、本人の自筆により記入すること。 1. 活動経験等：出願者がこれまでに主体性をもって携わった社会的な活動歴及びその内容（学校内での活動や最近のニュースについて調べたことなどを記入することも可） 2. 問題意識・関心：これまでの学習や1. の活動経験等から得たあなたの考え・志向。 3. 進学後の自己設計：2. で示した問題意識・関心を、コミュニティデザイン学科での学びをとおしてどのように発展させ、地域に貢献しようとするか。 様式は本学ホームページからダウンロードし、記入上の注意を確認の上、A4サイズで作成してください。

出願書類等	記 入 要 領 等
◆ 地 域 社 会 貢 献 活 動 の タ イ ト ル ・ 概 要 票 （ 地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科 ）	社会基盤デザイン学科に出願する者のみ提出すること。 自らが行った、あるいは参加した地域社会貢献活動の経験について、試験時にプレゼンテーションを行います。プレゼンテーション時に発表する地域社会貢献活動の ①タイトル ②活動内容の概要 を200文字程度にまとめて記載すること。 様式は本学ホームページからダウンロードし、記入上の注意を確認の上、A4サイズで作成してください。
◆ 志 望 理 由 書 【 共同教育学部全分野 】	共同教育学部に出願する者のみ提出すること。 様式は本学ホームページからダウンロードし、記入上の注意を確認の上、A4サイズで作成してください。
◆ 教育に関するレポート 【 共同教育学部教育分野 】	教育分野に出願する者のみ提出すること。 小学校教員又は中学校教員の仕事について書籍等の資料により調べた上で、教員経験者1名に話を聞き、 ①教員の仕事の内容 ②教員の仕事の難しさと面白さ についてわかったことをレポートにまとめてください。記入に際しては、参考にした資料の名称、聞き取り対象者に関する大まかな情報（例えば、「小学生時代の担任」など）についても記入してください。（800字程度、出願者自筆。最後に文字数を付記すること。） 様式は本学ホームページからダウンロードし、記入上の注意を確認の上、A4サイズで作成してください。
◆ 外国語や国際理解、異文化 理解等にかかる主体的学習 や活動の報告書 【 共同教育学部英語分野 】	英語分野に出願する者のみ提出すること。 テーマや内容として以下のような例に類する主体的な学習や活動で、その内容や成果等を具体的に示すことができるものについて報告書の作成・提出を求めます。なお、資格の取得や実績の達成等を内容に含む場合はその証拠となる資料（コピー可）を添付する必要があります。 様式は本学ホームページからダウンロードし、記入上の注意を確認の上、A4サイズで作成してください。 （例） (1) 外国語や国際理解、異文化理解等にかかる以下の取り組み等 ・所属する高等学校での「総合的な探究の時間」や課外活動等における取り組み ・地域や学校間で行われる催事（弁論大会や各種発表会など）への参加 ・大学等、他の公的教育機関が実施する学習プログラムへの参加 ・各種の検定や資格等の合格・取得に向けた学び ・ボランティア活動への従事 ・その他の自発的、主体的な学びや探究的な活動への取り組み (2) 国内外での他言語・異文化環境での学習や活動の経験
◆ 理科に関する活動報告書 【 共同教育学部理科分野 】	理科分野に出願する者のみ提出すること。 高校時代に主体的に携わり、実施した理科に関する活動の一つについて、①～④を項目別に記載してください。 ①活動のテーマ名 ②上記①の活動に取り組んだ目的及び活動の内容 （グループでの活動の場合は本人がどの程度どのような内容に貢献したかについても） ③活動から得られた成果（科学的知見等）と今後の課題 ④活動を通して身につけた力 様式は本学ホームページからダウンロードし、記入上の注意を確認の上、A4サイズで作成してください。
◆ 〈ピアノ〉提出楽譜表紙 【 共同教育学部音楽分野 】	音楽分野に出願する者のみ提出すること。 実技試験のピアノで演奏する曲の楽譜に本学様式「〈ピアノ〉提出楽譜表紙」を添付したもの。なお、楽譜はコピー可とし、印刷サイズ及び綴り方等は任意とします。 様式は本学ホームページからダウンロードし、記入上の注意を確認の上、A4サイズで作成してください。

出願書類等	記 入 要 領 等
◆ スポーツ活動報告書 【共同教育学部保健体育分野】	保健体育分野に出願する者のみ提出すること。 高校時代に経験してきたスポーツ活動（具体的な活動に関する資料を提出）に対してどのような意識、関心をもって取り組んできたか、そして、大学入学後、学校教員を目指すうえでどのように活かそうとするのか、について記載してください。 なお、スポーツ活動には、運動部活動のみならず、地域スポーツでの活動、学校における体育的行事の運営、スポーツ審判資格の取得や審判員としての活動などを含みます。 様式は本学ホームページからダウンロードし、記入上の注意を確認の上、A4サイズで作成してください。
◆ 自己推薦書（工学部用） 【工学部基盤工学科】 一般、特別 共通	基盤工学科に出願する者のみ提出すること。各系で記入内容が異なるため、注意すること。 化学系に出願する者は、自己推薦書（活動報告）では、化学あるいは理科全般に関して主体的に活動した内容とそこから得たことを400字程度で、自己推薦書（志望理由と今後の抱負）では、本学入学を希望するに至った理由と本学入学後の抱負について400字程度で記述して下さい。 機械・情報電子系に出願する者は、自己推薦書（活動報告）では、数学や理科、情報などに関して主体的に取り組んだ探究活動の内容とそこから得たことを400字程度で、自己推薦書（志望理由と今後の抱負）では、本学入学を希望するに至った理由と本学入学後の抱負について400字程度で記述してください。 様式は本学ホームページからダウンロードし、記入上の注意を確認の上、A4サイズで作成してください。
◆ 自己推薦書（農学部用） 【農学部全学科】 一般、特別 共通	農学部に出願する者のみ提出すること。 様式は本学ホームページからダウンロードし、記入上の注意を確認の上、A4サイズで作成してください。
◆ 自己推薦書（探究活動の 取り組み） 【農学部フロンティア食品科学科】 一般、特別 共通	農学部フロンティア食品科学科に出願する者のみ自筆で作成し、提出すること。 様式は本学ホームページからダウンロードし、記入上の注意を確認の上、A4サイズで作成してください。
◆ プレゼンテーション資料 （工学部基盤工学科 一般、特別 共通） （農学部 生物生産イノベーション科学科 （一般）に出願する者） （農学部全学科 （特別）を専願又は併願する者）	工学部基盤工学科に出願する者、農学部生物生産イノベーション科学科総合型選抜A（一般）に出願する者、農学部総合型選抜A（特別）を専願又は併願する者のみ提出すること。各学科・系で作成内容が異なるため、注意すること。 工学部基盤工学科化学系に出願する者は、化学あるいは理科全般に関して取り組んだ課題について、機械・情報電子系に出願する者は、自身が取り組んだ理数系科目に関する探究活動について、記載してください。様式は本学ホームページからダウンロードし、作成上の注意を確認の上、プレゼンテーション資料をA4サイズで作成してください。 農学部フロンティア食品科学科に出願する者は、探究活動で取り組んだ課題について記載してください。様式は本学ホームページからダウンロードし、作成上の注意を確認の上、プレゼンテーション資料をスライド4枚で作成してください。 農学部生物生産イノベーション科学科（一般）に出願する者は、理科全般あるいは生物に関して取り組んだ課題について、生物生産イノベーション科学科（特別）（（一般）との併願を含む）に出願する者は、グローバルサイエンスキャンパス等で取り組んだ課題について記載してください。様式は本学ホームページからダウンロードし、作成上の注意を確認の上、プレゼンテーション資料をスライド8枚以内で作成してください。 農学部環境システム科学科に出願する者は、探究活動で取り組んだ課題について記載してください。様式は本学ホームページからダウンロードし、作成上の注意を確認の上、プレゼンテーション資料をスライド4枚で作成してください。 農学部エコロジカル社会経済学科に出願する者は、探究活動で取り組んだ課題について記載してください。様式は本学ホームページからダウンロードし、作成上の注意を確認の上、プレゼンテーション資料をスライド4枚で作成してください。
◆ iP-Uを含むGSC事業等の 受講修了証明書 （工学部基盤工学科 農学部全学科 （特別）を専願又は併願する者）	高校生等を対象とした本学iP-Uを含むGSC事業及びそれらの後継事業、あるいは次世代科学技術チャレンジプログラム事業の受講第一段階を修了したことが証明できるものを提出してください。

出願書類等	記 入 要 領 等
◆ 入学検定料免除申請書	地震、風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、「(7)入学検定料免除について」を参照し、本学ホームページから様式をダウンロードして作成し、提出してください。
◆「令和9年度共通テスト成績請求（Web方式）」 データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科 （第1次選考合格者）	データサイエンス経営学部データサイエンス経営学科に出願する者、地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科第1次選考合格者のみ手続を行うこと。 大学入学共通テスト成績請求情報の提供は、出願時点では完了しないため、以下の要領で提供手続を行うこと。 ・大学入学共通テスト出願サイトのマイページ上にある「出願内容確認・訂正」から「申込番号」を確認してください。 ・本学出願サイトのマイページ上にて「修正」をクリックし、令和8年12月18日（金）までに、「大学入学共通テスト成績請求票番号」に「申込番号」等を入力してください。
出 願 書 類 提 出 用 封 筒	市販の角形2号(240mm×332mm)の封筒を各自で用意してください。
◇出願書類提出用宛名シート	インターネット出願サイトからカラーで印刷し、「出願書類提出用封筒」の表面に剥がれないよう全面のり付けで貼付してください。 出願に必要な書類を封入し、宛名シートの出願者チェック欄において、出願書類に漏れないことをチェックした上で、「速達書留」にて郵送してください。

- (注) 1 インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。入学検定料を支払期間内に支払い、出願に必要な書類を提出期間内に本学に送付する必要があります。
- 2 入学検定料については、出願書類を受理した後はいかなる理由があっても返還できません。ただし、下記の対象者には13,000円を返還します（総合型選抜A（特別）の受験者（総合型選抜A（一般）との併願を含む）は対象となりません。）。
- ・地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科の受験者で、第1次選考の不合格者
 - ・工学部基盤工学科、農学部フロンティア食品科学科及び農学部生物生産イノベーション科学科の受験者で、2段階選抜を実施した場合の第1次選考の不合格者（総合型選抜A（特別）の受験者（総合型選抜A（一般）との併願を含む）は対象となりません。）
- 総合型選抜A（特別）に出願する受験者で、総合型選抜A（一般）も併願される場合の入学検定料は、1回分の17,000円となります。
- 3 工学部及び農学部の総合型選抜A（特別）に出願する受験者で、総合型選抜A（一般）も併願する場合の出願書類は1組提出してください。
- 4 受理した書類等は、iP-Uを含むGSC事業等の受講修了証明書を除き、いかなる理由があっても返還できません。iP-Uを含むGSC事業等の受講修了証明書は、試験当日の受付時に返却します。
- 5 受理した書類等の登録及び記載内容は、変更できません。なお、氏名、現住所、連絡先及び電話番号に変更が生じた場合は、速やかに学務部入試課へ連絡してください。
- 6 日本語以外の言語で記載されている書類は、訳文の提出を求める場合があります。
- 7 提出した書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- 8 プレゼンテーション資料について、試験当日に持参する必要がある学部・学科等があります。詳細は、33ページ以降の、「8 選抜の方法及び選抜日程等」を確認してください。

(7) 入学検定料免除について

本学では、災害等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

① 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、入学試験を行う当該年度において日本国内で発生した、災害救助法（昭和22年法律第118号）が適用された地域における地震、風水害等の災害（以下「災害」という。）により、次に該当する者です。

ア 主たる家計支持者（父母又はこれに代わって家計を支える者のうち、所得金額の最も多い者。以下「家計支持者」という。）が、災害救助法の適用地域において被災し、居住している又は居住していた家屋について、市区町村から次のいずれかに係る証明書を交付される者

- ㊦ 全壊
- ㊧ 大規模半壊
- ㊨ 半壊

イ 家計支持者が、災害により死亡又は行方不明となった者

② 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする者は、出願時に、本学ホームページより様式をダウンロードして作成した入学検定料免除申請書に、次のいずれかの証明書（写し可）を添えて、申請してください。

ア ①アに該当する者

罹災証明書、被災証明書等

イ ①イに該当する者

㊦ 家計支持者が死亡した場合

家計支持者の死亡が確認できる書類

㊧ 家計支持者が行方不明となった場合

家計支持者の行方不明の事実が確認できる書類又は行方不明となったことに係る申立て（入学検定料免除申請書に記載してください。）

なお、提出書類について不明な点がある場合は、あらかじめ学務部入試課まで問い合わせてください。また、免除申請の要件を満たしていなかった場合は、入学検定料の納付について学務部入試課から電話にて連絡します。

(8) 受験票の印刷

受験票は、出願期間終了後にインターネット出願サイトから印刷できるようになります。カラー印刷し、切り取り線に沿ってはさみで切り、試験当日に必ず持参してください。出願時に登録されたメールアドレスへ、受験票の印刷ができるようになったことをお知らせするメールをお送りしますが、プロバイダによりメールが届かない場合でも、令和8年9月16日（水）以降にインターネット出願サイトにログインして受験票を印刷してください。

7 疾病・負傷や障がい等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談

疾病・負傷や障がい等のために、受験上及び修学上で配慮を必要とする場合は、以下の期限までのできるだけ早い時期に学務部入試課との相談を開始してください。

また、事前相談の期限後であっても、受験上及び修学上で配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

(1) 事前相談の期限 令和8年8月24日(月)まで

(2) 事前相談申請書の提出

事前相談申請書(様式はホームページに掲載 <https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/>)に次の内容を記載し、医師の診断書(入学試験において必要な配慮が、具体的に記載されたもの。写でも可とします。)を添えて学務部入試課へ提出してください。

- ① 氏名、住所、連絡先電話番号、連絡可能な時間帯
- ② 志願予定の選抜の種類(総合型選抜A(一般)・(特別))、学部、学科等
- ③ 疾病・負傷や障がい等の内容・程度
- ④ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑥ 出身学校等で受けていた配慮
- ⑦ 日常生活の状況

8 選抜の方法及び選抜日程等

(1) 選抜の方法

データサイエンス経営学部

学 科	試 験 等 の 内 容	
デ ー タ サイエンス 経営 学 科	論 述 試 験	経営に関する数理的な分析とデータサイエンスに関する基礎的な素養及び論理的思考力を評価する。(試験時間90分)
	面 接	個人面接とし、複数の面接員により、1人あたり15分～20分程度実施する。 コミュニケーション能力と社会への貢献、経営に関する数理的な分析とデータサイエンスに対する関心や意欲を評価する。
	大学入学共通テストの結果	配点の詳細は47ページ参照。

地域デザイン科学部

学 科	試 験 等 の 内 容		
コミュニティデザイン学科	第 1 次 選 考	提出された書類により選考する。 活動経験等を踏まえた進学後の学習についてのオリジナリティや意欲も含めて審査する。	
	第 2 次 選 考 〈第1次選考の合格者に対して行う〉	グ ル ー プ ディスカッション	〈試験の方法〉 受験生数名でグループをつくり、1グループあたり60分程度実施する。前半では、「活動経験を踏まえた進学後の学習について」の内容について、あらかじめ準備したポスターを用い、一般的なポスター発表形式で1人5分ずつ順番に発表する。ポスターは最大A0サイズ1枚までの大きさとする。後半では発表内容についてお互いにディスカッションする。 〈試験の観点〉 主体的・協働的な姿勢や、コミュニケーション能力や地域課題への問題意識などを評価する。
		面 接	〈試験の方法〉 個人面接とし、複数の面接員により1人あたり15分程度実施する。 出願書類「活動経験を踏まえた進学後の学習について」とグループディスカッションの内容や問題意識について問う。 〈試験の観点〉 地域と向きあう基礎力として、コミュニケーション能力や基本的知識、学習意欲などを評価する。
		大 学 入 学 共 通 テ ス ト の 結 果	配点の詳細は48ページ参照。
建 築 都 市 デザイン学科	造形実技、面接の結果及び出願書類を総合して選抜を実施する。		
	造 形 実 技	立体・空間の構成を把握・表現する能力等を試験する。	
	面 接	面接は個人面接とし、複数の面接員により1人あたり10～20分程度実施する。 建築・都市デザインにおける関心度や意欲等を問う。	

学 科	試 験 等 の 内 容	
社 会 基 盤 デザイン学科	プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン ・ 面 接	〈試験の方法〉 「地域社会貢献活動」についてのプレゼンテーションと面接を行い、総合して選考を行う。なお、面接では、理工学教育を受けるための基礎能力に関する数学と物理の口頭試問を含みます。プレゼンテーションは指定のプレゼンテーションソフト（注１）で行うこと。プレゼンテーション及び面接は個人面接とし（注２）、複数の面接員により、受験者１人あたり30分程度で実施します。 プレゼンテーション：10分 質疑応答：10分 面接：10分 〈プレゼンテーション資料〉（任意） 参考となる資料を当日持参し、配付しても可。（事前の提出の必要はなし。配付する場合は15部用意すること） 〈試験の観点〉 地域の問題点の視点の正しさ、解決に向けて提案される方策等の有効性、地域デザイン、社会基盤デザインへの意欲、プレゼンテーションによるアピール力、質疑応答の適切さ等をプレゼンテーションの試験内容とします。 面接では、社会基盤デザイン学科で学ぶ意識、意欲、コミュニケーション能力等を評価し、口頭試問と合わせ総合的に評価します。

- （注１）社会基盤デザイン学科において指定するプレゼンテーションソフトは、Adobe Acrobat Reader のみとし、プレゼンテーションファイルは、全て PDF 形式とします。MS Power Point 等で作成し、PDF ファイルに変換の上、試験会場に持参してください。試験は PDF ファイルをフルスクリーンモードで表示し PC 用プロジェクターにより投影して行います。あらかじめ、最新版 Adobe Acrobat Reader での動作確認をしてください。パソコンは大学側が試験会場にて用意し、個人のパソコンの持ち込みは禁止とします。試験会場に備え付けの Windows PC を、最新版の Adobe Acrobat Reader をインストールして用意します。電子データを USB メモリスティック若しくは CD-R（ファイナライズされたもの）に保存し持参してください。それ以外のメディアは利用できません。また、ウイルスチェックを必ず事前に実施してください。サイズは 20MB 以下を目安とし、これを超える場合も 50MB を遵守してください。
- （注２）63 ページ〔社会基盤デザイン学科のプレゼンテーション内容である「地域社会貢献活動」について〕も参照すること。

共同教育学部学校教育教員養成課程

子どもの発達と教育への関心、教職に携わる意欲、それぞれの学校種・教科の教育方法を学ぶために必要な基礎的知識、論理的思考力、表現力、主体性等を評価します。出願書類及び各分野で課す選抜方法を総合して選抜を実施します。各分野で課す選抜方法は次のとおりです。なお、いずれの分野も大学入学共通テストを課しません。

系・分野		試験等の内容	
教育人間科学系	教育	グループディスカッション	試験当日に提示するテーマについて討論したのち、複数の面接員からの質問に答えます。
		面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により1人あたり15～20分程度実施します。教育分野を学ぶ上での基礎的知識に関する口頭試問及び「教育に関するレポート」に関する質問を含みます。
	教育心理	講義レポート作成（注1）	教育に関する今日的課題についての30分程度の講義動画を視聴し、講義内容の要点と試験当日に提示する課題に関するレポートを60分で作成します。
		面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により1人あたり20分程度実施します。教育心理分野に対する関心や、学校教員を目指す上での基礎的知識に関する口頭試問を含み、思考力、判断力、表現力、主体的な態度を評価します。
	特別支援教育	講義レポート作成（注1）	教育に関する今日的課題についての30分程度の講義動画を視聴し、講義内容の要点と試験当日に提示する課題に関するレポートを60分で作成します。
		面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により1人あたり15分～20分程度実施します。特別支援教育に関連する事柄を主題に、自ら考え、判断し、適切に表現することを通して、特別支援教育の学びに向かう関心や意欲、態度（適性・資質）を総合的に評価します。
人文社会系	国語	講義レポート作成（注1）	教育に関する今日的課題についての30分程度の講義動画を視聴し、講義内容の要点と試験当日に提示する課題に関するレポートを60分で作成します。
		面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により1人あたり15分～20分程度実施します。国語分野への関心や、知識・思考力・表現力を評価します。
	社会	講義レポート作成（注1）	教育に関する今日的課題についての30分程度の講義動画を視聴し、講義内容の要点と試験当日に提示する課題に関するレポートを60分で作成します。
		面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により1人あたり30分程度実施します。社会科に関する知識・技能、教材の理解に関する口頭試問を含み、社会科教育への関心、及び思考力・判断力・表現力を評価します。
	英語	講義レポート作成（注1）	教育に関する今日的課題についての30分程度の講義動画を視聴し、講義内容の要点と試験当日に提示する課題に関するレポートを60分で作成します。
		小論文	外国語や国際理解、異文化理解等にかかるトピック（試験当日提示）についての英語での小論文を課し（30分で120語以上）、英語分野への関心や、主体的に考える力及び表現する力を評価します。
		面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により1人あたり15～20分程度実施します。英語分野で学ぶ上での基礎的知識に関する口頭試問を含みます。
自然科学系	数学	小論文	教職に関連する文章を題材とした50分の小論文試験を実施します。読解力や表現力などを総合的に評価します。
		基礎能力試験	高等学校等で学習する数学の内容に関する90分の基礎能力試験を実施します。数学に関する基礎知識や数学的思考力を評価します。
		面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により1人あたり10～20分程度実施します。算数・数学科教員への意欲や、数学分野で学ぶ上での基礎的知識に関する口頭試問を含みます。

系・分野		試 験 等 の 内 容	
自然科学系	理科	講義レポート作成（注1）	教育に関する今日的課題についての30分程度の講義動画を視聴し、講義内容の要点と試験当日に提示する課題に関するレポートを60分で作成します。
		プレゼンテーション及び面接（注2）	「理科に関する活動報告書」の内容についてプレゼンテーション資料を準備し、プレゼンテーションを行います。面接では、プレゼンテーションの内容に基づいた口頭試問により表現力を評価するとともに、自然科学や理科の知識や捉え方、それらを将来教員となって教えることへの関心・意欲を総合的に評価します。プレゼンテーション及び面接は個人面接とし、複数の面接員により1人あたり15分程度（そのうちプレゼンテーションは5分程度）実施します。
	技術	講義レポート作成（注1）	教育に関する今日的課題についての30分程度の講義動画を視聴し、講義内容の要点と試験当日に提示する課題に関するレポートを60分で作成します。
		面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により1人あたり15分程度実施します。技術分野で学ぶ上での科学的基礎知識（情報・数学や物理学等）やものづくり教育に関する創造性、また、それらを将来教員となって教えることへの関心・意欲等を総合的に評価します。
芸術・生活・健康系	音楽	実技	楽典、ピアノ、学校教材による声楽の試験を行います。楽典の試験は一斉試験を30分程度、ピアノ、声楽の試験はそれぞれ個別に実施します。これらの試験を総合して、音楽の基礎的能力、表現力をみます。 詳細については、38ページ「（表）共同教育学部実技試験の内容」を参照すること。
		面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により1人あたり10分程度実施します。教職への関心・意欲、音楽の専門や音楽科教育に関する口頭試問を含みます。
	美術	実技	90分間の素描を行います。 詳細については、38ページ「（表）共同教育学部実技試験の内容」を参照すること。
		面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により1人あたり15分程度実施します。教職への関心・意欲、図画工作・美術の教科書の記述や資料を題材とする口頭試問を含み、教科に関する知識、教材の理解、経験、コミュニケーション能力を評価します。
	保健体育	講義レポート作成（注1）	教育に関する今日的課題についての30分程度の講義動画を視聴し、講義内容の要点と試験当日に提示する課題に関するレポートを60分で作成します。
		プレゼンテーション及び面接（注2）	「スポーツ活動報告書」に基づいてプレゼンテーション資料を準備し、5分程度のプレゼンテーションを行います。面接では、プレゼンテーションの内容等に関する10分程度の口頭試問を行います。これらは個別に実施し、複数の面接員により、教職への意欲、体育・スポーツ・健康についての関心と基礎的な知識、汎用的能力としての思考力、判断力、表現力等を総合的に評価します。
	家政	プレゼンテーション及び面接	家庭科における「食生活」に関して、志願者自身が行った探究活動についてプレゼンテーション資料を準備し、20分程度のプレゼンテーションを行います。資料はスライド1枚につきA3用紙1枚にカラー印刷したもの（10枚以内）を試験当日に持参し、指定するボードに掲示します。面接は、プレゼンテーションの内容等に関する口頭試問を含み、15分程度実施します。これらは個別に実施し、複数の面接員により、教職への関心・意欲、家庭科に関する基礎的な知識と考え方、汎用能力としての思考力、判断力、表現力等を総合的に評価します。

（注1） 講義レポート作成については、それが課されている全ての分野で共通の課題とします。

(注2) 共同教育学部において指定するプレゼンテーションソフトは、Adobe Acrobat Reader のみとし、プレゼンテーションファイルは、全て PDF 形式とします。MS Power Point 等で作成し、PDF ファイルに変換の上、試験会場に持参してください。試験は大型モニター又は PC 用プロジェクターを使用して行います。あらかじめ、最新版 Adobe Acrobat Reader での動作確認をしてください。パソコンは大学側が試験会場にて用意し、個人のパソコンの持ち込みは禁止とします。試験会場に備え付けの Windows PC に、最新版の Adobe Acrobat Reader をインストールして用意します。電子データを USB メモリスティックに保存し持参してください。それ以外のメディアは利用できません。また、ウイルスチェックを必ず事前に実施してください。サイズは 20MB 以下を目安とし、これを超える場合も 50MB を遵守してください。

(表) 共同教育学部実技試験の内容

系 ・ 分 野	内 容
芸術・生活・健康系	次の 1、2、3 の内容を課します。 1 楽典 楽式論、作曲法、音楽史の内容を含みません。 2 声楽 次の①・②の日本歌曲から任意の 1 曲を選択し、歌詞の 1 番を暗譜で演奏してください。（伴奏者は本学で用意します。） ① 林古溪 作詞、成田為三 作曲《浜辺の歌》（へ長調） ② 江間章子 作詞、中田喜直 作曲《夏の思い出》（ニ長調） 3 ピアノ ピアノ独奏による自由曲（3 分以上の楽曲）1 曲を暗譜で演奏してください。（反復は省略。） 〔注〕 ピアノで演奏する曲の楽譜（コピー可）に本学様式「〈ピアノ〉提出楽譜表紙」を添付し、出願時に提出してください。（ただし、提出された楽譜は返却しません。）
	美 術 90 分間の素描 〔注〕 モチーフ及び試験に使用する画材類は、全て大学で用意します。

工学部基盤工学科【一般、特別 共通】

系	試 験 等 の 内 容
化 学 系	プレゼンテーションと質疑応答・面接 〈試験の方法〉 出願書類、プレゼンテーションと質疑応答及び面接の結果を総合して選抜を実施します。 プレゼンテーションと質疑応答では、提出されたプレゼンテーション資料を用いて、自身が行った化学あるいは理科全般に関する課題を5分程度で発表し、発表内容に対する質疑応答及び化学に関する基礎知識の確認を行います。面接では入学後の修学意欲及び抱負などを尋ねます。プレゼンテーションと質疑応答及び面接は、個別に複数の面接員により、実施します。 プレゼンテーション(発表5分)・質疑応答・面接：計50分程度 〈試験の観点〉 プレゼンテーションと質疑応答では、応用化学コースでの学修に必要な思考力、判断力や主体的に学ぶ姿勢、他人にわかりやすく説明する表現力を主に評価します。また、基本的な学習事項に対する理解度についても確認します。 面接では、総合型選抜A（一般）・（特別）のいずれにおいても、入学後の修学意欲や抱負、及び化学への興味と関心の強さなどを評価します。これに加えて総合型選抜A（特別）では、未来を切り開いていこうとする夢と情熱を強く持ち、入学後、他の学生を感化し牽引できるようなリーダーシップを有しているかどうか、プレゼンテーション・質疑応答・面接を通して評価します。 自己推薦書（活動報告）では、受験生の化学あるいは理科全般に対する関心、課題解決に向けての行動力や科学的思考力を評価します。自己推薦書（志望理由と今後の抱負）では、志望の経緯を確認し、今後の学修意欲について評価します。

系	試 験 等 の 内 容	
機 械 ・ 情 報 電 子 系	プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン と 質 疑 応 答 ・ 面 接	〈試験の方法〉 出願書類、プレゼンテーションと質疑応答及び面接の結果を総合して選抜を実施します。 プレゼンテーションと質疑応答では、提出されたプレゼンテーション資料を用いて、自身が取り組んだ理数系科目に関する探究活動について発表し、発表内容に対する質疑応答及び数学・物理に関する基礎知識の確認を行います。面接では入学後の修学意欲及び抱負などを尋ねます。プレゼンテーションと質疑応答及び面接は、個別に複数の面接員により、実施します。 プレゼンテーションと質疑応答：発表 5 分、質疑応答15分程度 面接：10分程度 〈試験の観点〉 プレゼンテーションと質疑応答では、基盤工学科での学修に必要な思考力、判断力や主体的に学ぶ姿勢、他人にわかりやすく説明する表現力を主に評価します。また、理数系科目の基本的学習事項に関する理解度についても確認します。 面接では、総合型選抜A（一般）は、基盤工学科で学ぶ意欲やコミュニケーション能力を評価します。総合型選抜A（特別）は、入学後の抱負や勉学に対する意欲等のほか、機械・情報・電気電子・光工学の専門分野への興味と関心の強さをそれぞれ評価します。それに加えて、未来を切り開いていこうとする夢と情熱を強く持ち、入学後、他の学生を感化し牽引できるようなリーダーシップを有しているかどうか評価します。 自己推薦書（活動報告）では、受験生の理数系分野に対する関心、課題解決に向けての行動力や科学的思考力を評価します。自己推薦書（志望理由と今後の抱負）では、志望の経緯を確認し、今後の学修意欲について評価します。

（注 1）令和 9 年度総合型選抜 A（一般）において、工学部基盤工学科の化学系では入学志願者数が募集人員の 1.5 倍を超えた場合、機械・情報電子系では入学志願者数が募集人員の 2 倍を超えた場合には、2 段階選抜とし第 1 次選考（書類選考）及び第 2 次選考（本試験）を行うことがあります（工学部基盤工学科の総合型選抜 A（特別）の受験者（総合型選抜 A（一般）との併願を含む）は対象となりません。）。

第 1 次選考は、調査書・自己推薦書・プレゼンテーション資料に基づいて行います。

2 段階選抜の実施有無及び選抜結果（合否）については、本学ホームページにて公表するとともに、下記のとおり志願者全員にお知らせします。

①第 1 次選考を実施しない場合

志願者全員に本学受験票を交付します。

②第 1 次選考を実施した場合

合格者には、第 1 次選考実施結果を送付します。

不合格者には、第 1 次選考実施結果と検定料の一部（13,000 円）を返還するための検定料返還手続書類を送付します。

（注 2）プレゼンテーションで用いる資料は、本学ホームページからダウンロードしたフォーマットに基づいて作成し、印刷したものを出願書類として提出し、当日 PDF ファイルへ変換したものを持参してください。当日持参のファイルの内容は出願時に提出したものから変更しないでください。指定するプレゼンテーションソフトは、Adobe Acrobat Reader のみとします。試験は PDF ファイルをフルスクリーンモードで表示し PC 用プロジェクターにより投影して行います。あらかじめ、最新版 Adobe Acrobat Reader での動作確認をしてください。パソコンは大学側が試験会場にて用意し、個人のパソコンの持ち込みは禁止とします。試験会場には最新版の Adobe Acrobat Reader をインストールした Windows PC を用意します。電子データを USB メモリスティック若しくは CD-R（ファイナライズされたもの）に保存し持参してください。それ以外のメディアは利用できません。また、ウイルスチェックを必ず事前に実施してください。サイズは 20MB 以下を目安とし、これを超える場合も 50MB を遵守してください。

農学部【一般】

学 科	試 験 等 の 内 容	
フロンティア 食品科学科	論述試験	〈試験の方法〉 出願書類、論述試験、グループディスカッション、レポート、面接を総合して選抜を実施します。 論述試験では、フロンティア食品科学分野に関する小論文を課します。解答時間は90分とします。
	グループディスカッション	グループディスカッションでは小論文で提示されたテーマについて集団討論を30分間行います。 レポートではグループディスカッションで気づいた点、理解を深めた点について200字以内で記述してください。解答時間は20分間とします。
	レポート	面接は、「自己推薦書」に関する質問を含み、複数の面接員による個人面接を10～15分程度行います。 「自己推薦書」は、フロンティア食品科学科を志望する理由と入学後の抱負、及び探究活動で取り組んだ課題において主体的な取り組みの内容やそこから得たことを中心に、本学ホームページからダウンロードした様式に基づいてそれぞれ400字以内で記述してください。
	面接	〈試験の観点〉 本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、主体性、コミュニケーション能力、思考力、表現力を中心に評価します。論述試験では思考力、表現力、フロンティア食品科学で必要とされる基礎学力を中心に評価します。グループディスカッションでは主体性、判断力、協働性、コミュニケーション能力を中心に評価します。レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基本知識を中心に評価します。
生物生産 イノベーション 科学科	プレゼンテーション 及び 質疑応答	〈試験の方法〉 出願書類、プレゼンテーション及び質疑応答、面接を総合して選抜を実施します。 プレゼンテーション及び質疑応答は、グループで行います。前半では提出されたプレゼンテーション資料を用いて、自身が取り組んだ高等学校などにおける理科全般あるいは生物に関する探究活動について5分以内で発表します。後半では受験生同士で、発表内容に対する質疑応答を1人あたり5分程度で行います。
	面接	面接では、プレゼンテーションの内容や「自己推薦書」に関する質問を含み、複数の面接員による個人面接を10～25分程度行います。「自己推薦書」は、生物生産イノベーション科学科を志望する理由と生物生産関連分野で将来どのような貢献をしたいかについて、本学ホームページからダウンロードした様式に基づいて400字以内で記述してください。 なお、試験時間は受験者数や状況に応じて変わる場合がありますが、時間の長さは可否には影響しません。 〈試験の観点〉 プレゼンテーション及び質疑応答では、学修及び研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、思考力、表現力などを評価します。 また、主体性等を含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。

学 科	試 験 等 の 内 容	
環境システム 科学科	論述試験	〈試験の方法〉 出願書類、論述試験、グループディスカッション、レポート、面接を総合して選抜を実施します。 論述試験では、環境システム科学分野に関する小論文を課します。解答時間は90分とします。
	グループディスカッション	グループディスカッションでは小論文で提示されたテーマについて集団討論を30分間行います。 レポートではグループディスカッションで気づいた点、理解を深めた点について200字以内で記述してください。解答時間は20分間とします。 面接は、「自己推薦書」に関する質問を含み、複数の面接員による個人面接を10～15分程度行います。
	レポート	「自己推薦書」は、環境システム科学科を志望する理由と入学後の抱負について、本学ホームページからダウンロードした様式に基づいて400字以内で記述してください。 〈試験の観点〉 本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、コミュニケーション能力、思考力、表現力を中心に評価します。論述試験では思考力、表現力、環境システム科学で必要とされる基礎学力を中心に評価します。グループディスカッションでは主体性、判断力、協働性、コミュニケーション能力を中心に評価します。レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基本知識を中心に評価します。
	面接	また、主体性等を含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
エコロジカル 社会経済学科	論述試験	〈試験の方法〉 出願書類、論述試験、グループディスカッション、レポート、面接を総合して選抜を実施します。 論述試験では、エコロジカル社会経済学分野に関する小論文を課します。解答時間は90分とします。
	グループディスカッション	グループディスカッションでは小論文で提示されたテーマについて集団討論を30分間行います。 レポートではグループディスカッションで気づいた点、理解を深めた点について200字以内で記述してください。解答時間は20分間とします。 面接は、「自己推薦書」に関する質問を含み、複数の面接員による個人面接を10～15分程度行います。
	レポート	「自己推薦書」は、エコロジカル社会経済学科を志望する理由と入学後の抱負について、本学ホームページからダウンロードした様式に基づいて400字以内で記述してください。 〈試験の観点〉 本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、コミュニケーション能力、思考力、表現力を中心に評価します。論述試験では思考力、表現力、エコロジカル社会経済学で必要とされる基礎学力を中心に評価します。グループディスカッションでは主体性、判断力、協働性、コミュニケーション能力を中心に評価します。レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基礎的な知識を中心に評価します。
	面接	また、主体性等を含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。

(注1) 令和9年度総合型選抜A(一般)において、農学部フロンティア食品科学科で入学志願者数が募集人員の3倍を超えた場合、農学部生物生産イノベーション科学科で入学志願者数が募集人員の2倍を超えた場合には、2段階選抜とし第1次選考(書類選考)及び第2次選考(本試験)を行うことがあります(農学部の総合型選抜A(特別)の受験者(総合型選抜A(一般)との併願を含む)は対象となりません。)

第1次選考は、農学部フロンティア食品科学科では調査書・自己推薦書、農学部生物生産イノベーション科学科では調査書・自己推薦書・プレゼンテーション資料に基づいて行います。

2段階選抜の実施有無及び選抜結果(合否)については、本学ホームページにて公表するとともに、下記のとおり志願者全員にお知らせします。

①第1次選考を実施しない場合

志願者全員に本学受験票を交付します。

②第1次選考を実施した場合

合格者には、第1次選考実施結果を送付します。

不合格者には、第1次選考実施結果と検定料の一部(13,000円)を返還するための検定料返還手続書類を送付します。

(注2) 農学部生物生産イノベーション科学科のプレゼンテーションで用いる資料は、本学ホームページからダウンロードしたフォーマットに基づいて作成してください。資料はMicrosoft PowerPoint等のパソコン作成、手書き作成のいずれでも構いません。A4サイズのコピー用紙等(8枚以内)にカラー片面で印刷もしくは手書きしたものを出願書類として提出してください。また、用紙の右上にページ番号を書き、裏面左上には氏名を記入してください。

試験当日は出願時に提出したプレゼンテーション資料を大学側が試験会場にて用意します。個人のパソコンの持ち込みや出願時に提出した資料の変更は禁止とします。

農学部【特別】

学 科	試 験 等 の 内 容	
フロンティア 食品科学科	論述試験	〈試験の方法〉 出願書類、論述試験、グループディスカッション、レポート、面接、プレゼンテーション及び質疑応答を総合して選抜を実施します。 論述試験では、フロンティア食品科学分野に関する小論文を課します。解答時間は90分とします。グループディスカッションでは小論文で提示されたテーマについて集団討論を30分間行います。レポートではグループディスカッションで気づいた点、理解を深めた点について200字以内で記述してください。解答時間は20分間とします。 面接は、「自己推薦書」に関する質問を含み、複数の面接員による個人面接を10～15分程度行った後に、探究活動に関するプレゼンテーション（5分）及び質疑応答を行います。 「自己推薦書」は、フロンティア食品科学科を志望する理由と入学後の抱負、及び探究活動で取り組んだ課題において主体的な取り組みの内容やそこから得たことを中心に、本学ホームページからダウンロードした様式に基づいてそれぞれ400字以内で記述してください。
	グループディスカッション	〈試験の観点〉 本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、主体性、コミュニケーション能力、思考力、表現力を中心に評価します。論述試験では思考力、表現力、フロンティア食品科学で必要とされる基礎学力を中心に評価します。グループディスカッションでは主体性、判断力、協働性、コミュニケーション能力を中心に評価します。レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基本知識を中心に評価します。 それに加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション（5分）及び質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。 また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
	レポート	
	プレゼンテーション 及び 質疑応答	
	面接	
生物生産 イノベーション 科学科	プレゼンテーション 及び 質疑応答	〈試験の方法〉 出願書類、プレゼンテーション及び質疑応答、面接を総合して選抜を実施します。 プレゼンテーション及び質疑応答は、グループで行います。前半では提出されたプレゼンテーション資料を用いて、自身が取り組んだグローバルサイエンスキャンパス等の探究活動について5分以内で発表します。後半では受験生同士で、発表内容に対する質疑応答を1人あたり5分程度で行います。 面接では、プレゼンテーションの内容や「自己推薦書」に関する質問を含み、複数の面接員による個人面接を10～25分程度行います。「自己推薦書」は、生物生産イノベーション科学科を志望する理由と生物生産関連分野で将来どのような貢献をしたいかについて、本学ホームページからダウンロードした様式に基づいて400字以内で記述してください。 なお、試験時間は受験者数や状況に応じて変わる場合がありますが、時間の長さは可否には影響しません。
	面接	〈試験の観点〉 プレゼンテーション及び質疑応答では、学修及び研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、思考力、表現力などを評価します。 また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。

学 科	試 験 等 の 内 容	
環境システム 科学科	論述試験	〈試験の方法〉 出願書類、論述試験、グループディスカッション、レポート、面接、プレゼンテーション及び質疑応答を総合して選抜を実施します。 論述試験では、環境システム科学分野に関する小論文を課します。解答時間は90分とします。
	グループディスカッション	グループディスカッションでは小論文で提示されたテーマについて集団討論を30分間行います。 レポートではグループディスカッションで気づいた点、理解を深めた点について200字以内で記述してください。解答時間は20分間とします。
	レポート	面接は、「自己推薦書」に関する質問を含み、複数の面接員による個人面接を10～15分程度行った後に、探究活動に関するプレゼンテーション（5分）及び質疑応答を行います。 「自己推薦書」は、環境システム科学科を志望する理由と入学後の抱負について、本学ホームページからダウンロードした様式に基づいて400字以内で記述してください。
	プレゼンテーション 及び 質疑応答	〈試験の観点〉 本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、コミュニケーション能力、思考力、表現力を中心に評価します。論述試験では思考力、表現力、環境システム科学で必要とされる基礎学力を中心に評価します。グループディスカッションでは主体性、判断力、協働性、コミュニケーション能力を中心に評価します。レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基本知識を中心に評価します。
	面接	それに加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション（5分）及び質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。 また、主体性等を含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
エコロジカル 社会経済学科	論述試験	〈試験の方法〉 出願書類、論述試験、グループディスカッション、レポート、面接、プレゼンテーション及び質疑応答を総合して選抜を実施します。 論述試験では、エコロジカル社会経済学分野に関する小論文を課します。解答時間は90分とします。
	グループディスカッション	グループディスカッションでは小論文で提示されたテーマについて集団討論を30分間行います。 レポートではグループディスカッションで気づいた点、理解を深めた点について200字以内で記述してください。解答時間は20分間とします。
	レポート	面接は、「自己推薦書」に関する質問を含み、複数の面接員による個人面接を10～15分程度行った後に、探究活動に関するプレゼンテーション（5分）及び質疑応答を行います。 「自己推薦書」は、エコロジカル社会経済学科を志望する理由と入学後の抱負について、本学ホームページからダウンロードした様式に基づいて400字以内で記述してください。
	プレゼンテーション 及び 質疑応答	〈試験の観点〉 本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、コミュニケーション能力、思考力、表現力を中心に評価します。論述試験では思考力、表現力、エコロジカル社会経済学で必要とされる基礎学力を中心に評価します。グループディスカッションでは主体性、判断力、協働性、コミュニケーション能力を中心に評価します。レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基礎的な知識を中心に評価します。
	面接	それに加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション（5分）及び質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。 また、主体性等を含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。

(注1) 農学部フロンティア食品科学科、環境システム科学科、エコロジカル社会経済学科のプレゼンテーションで用いる資料は、本学ホームページからダウンロードしたフォーマットに基づいて作成してください。プレゼンテーションソフトは、Adobe Reader のみとし、プレゼンテーションファイルは、全てPDF形式とします。Microsoft PowerPoint 等で作成し、PDF ファイルに変換の上、A4 サイズのコピー用紙等(4 枚)にカラー片面で印刷したものを出願書類として提出し、PDF ファイルを試験会場に持参してください。試験はPDF ファイルをフルスクリーンモードで表示しPC 用プロジェクターにより投影して行います。あらかじめ、最新版 Adobe Reader での動作確認をしてください。パソコンは大学側が試験会場にて用意し、個人のパソコンの持ち込みや出願時に提出した資料からの変更は禁止とします。試験会場に備え付けの Windows PC を最新版の Adobe Reader をインストールして用意します。電子データを USB メモリスティック若しくは CD-R (ファイナライズされたもの) に保存し持参してください。それ以外のメディアは利用できません。また、ウイルスチェックを必ず事前に実施してください。サイズは 20MB 以下を目安とし、これを超える場合も 50MB を遵守してください。

(注2) 農学部生物生産イノベーション科学科のプレゼンテーションで用いる資料は、本学ホームページからダウンロードしたフォーマットに基づいて作成してください。資料は Microsoft PowerPoint 等のパソコン作成、手書き作成のいずれでも構いません。A4 サイズのコピー用紙等(8 枚以内)にカラー片面で印刷もしくは手書きしたものを出願書類として提出してください。また、用紙の右上にページ番号を書き、裏面左上には氏名を記入してください。

試験当日は出願時に提出したプレゼンテーション資料を大学側が試験会場にて用意します。個人のパソコンの持ち込みや出願時に提出した資料の変更は禁止とします。

(2) 総合型選抜A (一般)・(特別) の入学志願者に課する教科・科目名及び配点

① 大学入学共通テスト教科・科目名の表記

大学入学共通テストの出題教科・科目名は、次のように示しています。

○国語→国

「国語」→「国」

○数学→数

『数学Ⅰ、数学A』→「数ⅠA」、「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」、

『数学Ⅱ、数学B、数学C』→「数ⅡBC」

○外国語→外

「英語」→「英」、「ドイツ語」→「独」、「フランス語」→「仏」、

「中国語」→「中」、「韓国語」→「韓」

② 実施教科・科目等及び配点

データサイエンス経営学部

総合型選抜 A（一般）

学部・学科名			大学入学共通テストの利用教科・科目名		本学の試験等		大学入学共通テスト・本学の試験等の配点									
							大学入学共通テスト						第1次選考	第2次選考・入学試験		配点合計
			教科	科目名等	科目等	試験の内容等	国語	地歴公民	数 学	理 科	外国語	小 計	書類選考	論 述 試 験	面 接	
データサイエンス経営学部	データサイエンス経営学科	国数外	国数ⅠA、数ⅡBC（2科目必須） 英、独、仏、中、韓から1 〔3教科4科目〕	その他	出願書類 論述試験（注1） 面接（注2） 大学入学共通テスト	100		100		100	300		300	300	900	

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

「英」は、リスニングを含みます。

【本学の試験等】欄

（注1）「論述試験」は、経営に関する数理的な分析とデータサイエンスに関する基礎的な素養及び論理的思考力を評価します。

（試験時間 90 分）

（注2）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により 1 人あたり 15～20 分程度実施します。

コミュニケーション能力と社会への貢献、経営に関する数理的な分析とデータサイエンスに対する関心や意欲を評価します。

【大学入学共通テスト・本学の試験等の配点等】欄

大学入学共通テストについて、国語は 0.5 倍（100 点満点）に、数学は数ⅠA、数ⅡBC をそれぞれ 0.5 倍（各 50 点満点）、英語のリーディング（筆記試験）は 0.75 倍（75 点満点）に、リスニングは 0.25 倍（25 点満点）にそれぞれ換算します。

なお、リスニングを免除された場合は、リーディング（筆記試験）をそのまま利用します。

英語以外の外国語の場合は、筆記試験を 0.5 倍（100 点満点）に換算します。

地域デザイン科学部

総合型選抜 A（一般）

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名		本学の試験等		大学入学共通テスト・本学の試験等の配点										配 点 合 計
						大学入学共通テスト						第1次選考	第2次選考・入学試験			
		教科	科目名等	科目等	試験の内容等	国 語	地歴 公民	数 学	理 科	外国語	小 計	書類 選考	グループ ディスカッション	プレゼン テーション	面 接	
地域デザイン 科 学 部	コミュニティ デザイン学科	国 数 外	国 ①数ⅠA、数Ⅰから1 ②数ⅡBC (①及び②の計2科目必須) 英、独、仏、中、韓から1 〔3教科4科目〕	その他	第1次選考：出願書類 第2次選考：グループディスカッ ション（注1） 面接（注2） 大学入学共通テスト	200		200		200	600	（合否）	300		300	1200
	建 築 都 市 デ ザ イ ン 学 科		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 造形実技（注1） 面接（注2）									600	400	1000
	社 会 基 盤 デ ザ イ ン 学 科		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 プレゼンテーション・面接（注1）									100		100

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

「英」は、リスニングを含みます。

【本学の試験等】欄

コミュニティデザイン学科

（注1）「グループディスカッション」は受験生数名でグループをつくり、1グループあたり60分程度実施します。前半では「活動経験等を踏まえた進学後の学習について」の内容について、あらかじめ準備したポスターを用い、一般的なポスター発表形式で1人5分ずつ順番に発表します。ポスターは最大A0サイズ1枚までの大きさとし、後半では、発表内容についてお互いにディスカッションします。

（注2）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により1人あたり15分程度実施します。出願書類「活動経験等を踏まえた進学後の学習について」とグループディスカッションの内容や問題意識について問い、地域と向き合う基礎力としてコミュニケーション能力や基本的知識、学習意欲などを評価します。

建築都市デザイン学科

（注1）「造形実技」は、立体・空間の構成を把握・表現する能力等を試験します。

（注2）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により1人あたり10～20分程度実施します。建築・都市デザインにおける関心度や意欲等を問います。

社会基盤デザイン学科

（注1）「プレゼンテーション・面接」は、地域の問題点の視点の正しさ、解決に向けて提案される方策などの有効性、地域デザイン、社会基盤デザインへの意欲、プレゼンテーションによるアピール力、質疑応答の適切さ等を問います。なお面接では、理工学教育を受けるための基礎能力に関する数学と物理の口頭試問を含みます。

【大学入学共通テスト・本学の試験等の配点等】欄

コミュニティデザイン学科

大学入学共通テストについて、英語のリーディング（筆記試験）は1.5倍（150点満点）に、リスニングは0.5倍（50点満点）に換算します。なお、リスニングを免除された場合は、リーディング（筆記試験）を2倍（200点満点）に換算します。英語以外の外国語の場合は筆記試験をそのまま利用します。

共同教育学部

総合型選抜 A（一般）

学部・系・分野名				大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学の試験等		大学入学共通テスト・本学の試験等の配点														
								大学入学共通テスト						第1次選考	第2次選考・入学試験							配点合計
				教科	科目名等	科目等	試験の内容等	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	小計	書類選考	講義レポート	小論文	基礎能力試験	グループディスカッション	プレゼンテーション	面接	実技	
共同教育学部	学校教育	教育人間科学系	教育	大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 グループディスカッション 面接											100		100		200	
			教育心理	大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 講義レポート作成 面接								100					100		200	
			特別支援教育	大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 講義レポート作成 面接								100					100		200	
		人文社会系	国語	大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 講義レポート作成 面接								100					100		200	
			社会	大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 講義レポート作成 面接								100					100		200	
			英語	大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 講義レポート作成 小論文 面接								100	50					50		200
		自然科学系	数学	大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 小論文 基礎能力試験 面接										100	70		30		200	
			理科	大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 講義レポート作成 プレゼンテーション及び面接								100					100		200	
			技術	大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 講義レポート作成 面接								100						100		200
		芸術・生活・健康系	音楽	大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 実技 面接														100	100	200
			美術	大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 実技 面接														100	100	200
			保健体育	大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 講義レポート作成 プレゼンテーション及び面接								100					100			200
		家政	大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 プレゼンテーション及び面接													100	100		200	

【大学の試験等】欄

大学の試験等では、主に教職に携わる意欲、教育への関心、論理的思考力等を評価する選考（アンダーラインを引いた配点）及び、主にそれぞれの学校種・教科に関する基礎的知識や思考力、判断力、表現力、主体性等を評価する選考を行います。

工学部

総合型選抜 A（一般）

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学の試験等		大学入学共通テスト・大学の試験等の配点									配点合計
						大学入学共通テスト						第1次選考	第2次選考・入学試験		
		教科	科目名等	科目等	試験の内容等	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	小計	書類選考	プレゼンテーション	面接	
工学部	基盤工学科 化学系		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 プレゼンテーションと質疑応答 面接							(可否) (注1)	100	100	
	基盤工学科 機械・情報電子系		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 プレゼンテーションと質疑応答 面接							(可否) (注1)	100	100	

【大学の試験等】欄

(注1) 工学部で2段階選抜を行う場合は、調査書・自己推薦書・プレゼンテーション資料に基づいて第1次選考を行います。

(注2) 基盤工学科化学系では、大学入学共通テストを課していませんが、入学後の修学支援の参考とするため、合格者のうち、大学入学共通テストを受験した者については、可能な限り自己採点結果の報告をお願いしております。

総合型選抜 A（特別）

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学の試験等		大学入学共通テスト・大学の試験等の配点										配 点 合 計
						大学入学共通テスト						第1次選考	第2次選考・入学試験			
		教科	科目名等	科目等	試験の内容等	国 語	地歴 公民	数 学	理 科	外国語	小 計	書類 選考	プレゼンテーション	面 接		
工 学 部	基盤工学科 化学系		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 プレゼンテーションと質疑応答 面接								100	100		
	基盤工学科 機械・ 情報電子系		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 プレゼンテーションと質疑応答 面接								100	100		

【大学の試験等】欄

(注1) 基盤工学科化学系では、大学入学共通テストを課していませんが、入学後の修学支援の参考とするため、合格者のうち、大学入学共通テストを受験した者については、可能な限り自己採点結果の報告をお願いしております。

農学部

総合型選抜 A（一般）

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名		本学の試験等		大学入学共通テスト・本学の試験等の配点												配点合計
						大学入学共通テスト						第1次選考	第2次選考・入学試験					
		教科	科目名等	科目等	試験の内容等	国語	地歴 公民	数 学	理 科	外国語	小 計	書類 選考	論述 試験	グループ ディスカッション	レポート	プレゼンテーション 及び質疑応答	面 接	
農 学 部	フロンティア 食品科学科		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 論述試験 グループディスカッション グループディスカッションのレポート 面接							(注1) (可否)	100	60	40		100	300
	生物生産イノ ベーション科学科		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 プレゼンテーション及び質疑応答 面接							(注2) (可否)				200	100	300
	環境システム 科学科		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 論述試験 グループディスカッション グループディスカッションのレポート 面接								100	70	30		100	300
	エコロジカル 社会経済学科		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 論述試験 グループディスカッション グループディスカッションのレポート 面接								100	25	25		150	300

【本学の試験等】欄

(注1) 農学部フロンティア食品科学科で2段階選抜を行う場合は、調査書・自己推薦書に基づいて第1次選考を行います。

(注2) 農学部生物生産イノベーション科学科で2段階選抜を行う場合は、調査書・自己推薦書・プレゼンテーション資料に基づいて第1次選考を行います。

総合型選抜A（特別）

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名		本学の試験等		大学入学共通テスト・本学の試験等の配点												配点合計
						大学入学共通テスト						第1次選考	第2次選考・入学試験					
		教科	科目名等	科目等	試験の内容等	国語	地歴 公民	数 学	理 科	外国語	小 計	書類 選考	論述 試験	グループ ディスカッション	レポート	プレゼンテーション 及び質疑応答	面 接	
農 学 部	フロンティア 食品科学科		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 論述試験 グループディスカッション グループディスカッションのレポート プレゼンテーション及び質疑応答 面接								100	60	40	100	100	400
	生物生産イノ ベーション科 科学科		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 プレゼンテーション及び質疑応答 面接											200	100	300
	環境システム 科学科		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 論述試験 グループディスカッション グループディスカッションのレポート プレゼンテーション及び質疑応答 面接								100	70	30	200	100	500
	エコロジカル 社会経済学科		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 論述試験 グループディスカッション グループディスカッションのレポート プレゼンテーション及び質疑応答 面接								100	25	25	100	150	400

(3) 第2次選考及び入学試験の日時及び試験場

学 部	選 抜 日	集合時刻	集 合 場 所	試 験 場	試 験 開始時刻
データサイエンス 経 営 学 部	令和8年 11月28日(土)	8時30分	峰キャンパス 5号館B棟 玄関ホール	宇 都 宮 大 学 峰 キ ャ ン パ ス 5 号 館 B 棟 (宇都宮市峰町350)	9時
地域デザイン科学部	令和8年 11月28日(土)	8時30分	陽東キャンパス 10号館1階 アカデミア・ ホ ー ル	宇 都 宮 大 学 陽 東 キ ャ ン パ ス 地 域 デ ザ イ ン 科 学 部 (宇都宮市陽東7-1-2)	9時
共 同 教 育 学 部	令和8年 10月10日(土)	8時30分	峰キャンパス 8号館A棟 玄関ホール	宇 都 宮 大 学 峰 キ ャ ン パ ス 共 同 教 育 学 部 (宇都宮市峰町350)	9時
工 学 部	令和8年 10月10日(土)	8時30分 (注1)	陽東キャンパス 2・3号館 玄関ホール	宇 都 宮 大 学 陽 東 キ ャ ン パ ス 工 学 部 (宇都宮市陽東7-1-2)	9時
農 学 部	令和8年 10月10日(土)	8時30分	峰キャンパス 1号館A棟 玄関ホール	宇 都 宮 大 学 峰 キ ャ ン パ ス 農 学 部 (宇都宮市峰町350)	9時

(注1)工学部基盤工学科(化学系)の志願者は、受験者数の状況により、午前または午後の検査時間帯に振り分けられるため、集合時刻が異なる場合があります。
工学部基盤工学科(化学系)の志願者の集合時刻は、本学ホームページで公表するとともに、別途通知します。

(4) 第2次選考及び入学試験の時間割

集合時刻は8時30分です。(注4)

面接・グループディスカッション・プレゼンテーション・音楽実技は、受験者数により終了時刻が変更になる場合があります。

試験日 令和8年10月10日(土)

学部・学科等(注3)			9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00	
共同 教育 学部 学校 教育 教員 養成 課程 (注1)	教育 人間 科学 系	教 育	グループディスカッション 9:00～					面接 12:00～										
		教 育 心 理	講義視聴・レポート作成 9:00～11:00					面接 12:00～										
		特別支援教育	講義視聴・レポート作成 9:00～11:00					面接 12:00～										
	人文 社会 系	国 語	講義視聴・レポート作成 9:00～11:00					面接 12:00～										
		社 会	講義視聴・レポート作成 9:00～11:00					面接 12:00～										
		英 語	講義視聴・レポート作成 9:00～11:00					小論文 11:30～ 12:00	面接 13:00～									
	自然 科学 系	数 学	小論文 9:00～9:50		基礎能力試験 10:10～11:40			面接 13:30～										
		理 科	講義視聴・レポート作成 9:00～11:00				プレゼンテーション及び面接 12:00～											
		技 術	講義視聴・レポート作成 9:00～11:00				面接 12:00～											
	芸術・生活・健康 系	音 楽	実技 9:00～				面接 12:00～											
		美 術	実技 9:00～10:30				面接 11:00～											
		保 健 体 育	講義視聴・レポート作成 9:00～11:00				プレゼンテーション及び面接 12:00～											
		家 政	プレゼンテーション及び面接 9:00～															

学部・学科等(注3)			9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
工 学 部	基盤工学科	化学系(注4)	プレゼンテーション及び面接 9:00～							
		機械・情報電子系	プレゼンテーション及び面接 9:00～							
農 学 部 (注2)	フロンティア 食 品 科 学 科		論述試験 9:00～10:30		グループ ディスカッション・ レポート作成 11:00～12:10		面接 13:00～			
	生物生産イノベ ーション科学科		プレゼンテーション及び質疑応答 9:00～					面接 13:00～		
	環境システム科 学 科		論述試験 9:00～10:30		グループ ディスカッション・ レポート作成 11:00～12:00		面接 13:00～			
	エコロジカル 社会経済学科		論述試験 9:00～10:30		グループ ディスカッション・ レポート作成 11:00～12:00		面接 13:00～			

(注1) 共同教育学部で課す「講義視聴・レポート作成」については、一続きの試験として実施します。

(注2) 農学部で課す「グループディスカッション・レポート作成」、「プレゼンテーション及び質疑応答」については、一続きの試験として実施します。

(注3) 試験時間には、講義終了後のレポート作成の説明やグループディスカッションの説明、教室移動等の時間が含まれる場合があります。

(注4) 工学部基盤工学科(化学系)の志願者は、受験者数の状況により、午前または午後の検査時間帯に振り分けられるため、集合時刻が異なる場合があります。

工学部基盤工学科(化学系)の志願者の集合時刻は、本学ホームページで公表するとともに、別途通知します。

集合時刻は8時30分です。

面接・グループディスカッション・プレゼンテーションは、受験者数により終了時刻が変更になる場合があります。

試験日 令和8年11月28日(土)

学部・学科等			9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
経営学部	データサイエンス経営学科		論述試験 9:00～10:30					面接 12:00～		
地域デザイン科学部	コミュニティデザイン学科		グループディスカッション 9:00～					面接 12:30～		
	建築都市デザイン学科		造形実技 9:00～11:00					面接 13:00～		
	社会基盤デザイン学科		プレゼンテーション及び面接 9:00～							

9 受験上の注意事項

(1) 試験当日の注意事項

- ① 試験当日は、「本学の受験票」を必ず持参してください。
- ② 試験当日は、指定された集合場所に、集合時刻までに必ず集合してください。
- ③ 受験の際に机の上に置くことのできるものは、受験票、鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのものに限る）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー、目薬、鉛筆キャップ、プレゼンテーション・グループディスカッションの資料、造形実技で使用する物品だけです。
- ④ 下敷き、座布団については、監督者の許可を得たものだけに限り使用することができます。
- ⑤ 携帯電話・スマートフォン等は電源を切り、監督者の指示に従ってください。
- ⑥ 天候等の影響で、交通機関が平常どおりに運行していない可能性があります。試験場には余裕をもって来るようにしてください。
- ⑦ 面接の順番等により、試験終了が午後になることがありますので、昼食を持参してください。
- ⑧ 試験当日は、自動車及びバイクによる試験場内への乗り入れを禁止します。

(2) 不正行為

- ① 次のことをすると不正行為となります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した選抜区分の全ての成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

ア インターネット出願において故意に虚偽の情報を登録したことにより、登録した情報をもとに作成される志願票、写真票に虚偽の内容があった場合や、解答用紙へ故意に虚偽の記入（解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど）をすること

イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること

ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること

エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと

オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと

カ 監督者が試験開始を指示する前に、問題冊子を開いたり解答を始めること

キ 試験時間中に、使用が認められていない定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること

ク 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること

※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（病気・負傷や障がい等により、試験時間中に補聴器等を使用したい場合は、受験上及び修学上の配慮に関する事前相談が必要です。）

ケ 監督者が試験終了を指示した後に、その指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること

コ その他、試験時の説明で禁止された行為をすること

- ② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

- ア 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）をならすなど、試験の進行に影響を与えること
- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること
- エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること
- オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと
- カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること
- ※その他、試験時間中に使用できないものや身に付けることができないもの等が発見された場合も不正行為に該当する場合があります。

10 入試過去問題の使用について

本学の「アドミッション・ポリシー」に基づき、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」への参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。（必ず使用するとは限りません）

- (1) 入試過去問題を使用して出題する場合は、一部を改変することもあります。
- (2) 入試過去問題を使用して出題した場合は、入試終了後、受験者に分かるように本学ホームページ等で公表します。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学一覧は、次の URL をご覧ください。
<https://www.nyushikakomon.jp/>

11 合格者発表

(1) 発表日時

合 格 者 発 表 (注1、注2)	データサイエンス 経 営 学 部	データサイエンス経営学科	令和9年2月10日（水）14時
第1次選考結果 (注1)	地 域 デ ザ イ ン 科 学 部	令和8年10月16日（金）にコミュニティデザイン学科の出願者全員へ郵送します。 なお、本学ホームページ「 http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html 」においても第1次選考合格者の受験番号を掲載します。 （15時頃） また、第1次選考合格者には「令和9年度共通テスト成績請求」（国公立総合型選抜用）を後日手続してもらいます。（手続方法は31ページ参照） *第1次選考不合格者には、検定料の返還方法についての文書を添付します。	
第2次選考結果 (合格者発表) (注1、注2)		コミュニティデザイン学科	令和9年2月10日（水）14時
合 格 者 発 表 (注1、注2)		建築都市デザイン学科	令和8年12月9日（水）14時
	社会基盤デザイン学科		
	共同教育学部	全 て の 分 野	令和8年11月1日（日）14時
	工 学 部	【A（一般）のみ】 2段階選抜を実施した場合の第1次選考の結果は、令和8年9月29日（火）に対象者全員へ郵送するとともに、本学ホームページ「 http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html 」においても第1次選考合格者の受験番号を掲載します。（15時頃） *第1次選考不合格者には、検定料の返還方法についての文書を添付します。	
基 盤 工 学 科		令和8年11月1日（日）14時	
合 格 者 発 表 (注1、注2)	農 学 部	フロンティア食品科学科【A（一般）のみ】 生物生産イノベーション科学科【A（一般）のみ】 2段階選抜を実施した場合の第1次選考の結果は、令和8年9月29日（火）に対象者全員へ郵送するとともに、本学ホームページ「 http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html 」においても第1次選考合格者の受験番号を掲載します。（15時頃） *第1次選考不合格者には、検定料の返還方法についての文書を添付します。	
		フロンティア食品科学科	令和8年11月1日（日）14時
		生物生産イノベーション科学科	
		環境システム科学科	
		エコロジカル社会経済学科	

(注1) 電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

(注2) 合格者には「合格通知書」を速達で郵送します。

ホームページ「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html>」においても合格者の受験番号を掲載する予定です。これは情報提供サービスの一環で行うものですので、必ず合格通知書により確認してください。

(2) 入学前の学修支援について

合格し、入学手続を完了した者には、入学後の学修が効果的に進められるように、入学前に学修課題（例えば、レポートの提出）を与えることがあります。詳細は入学手続完了者に対して、学部（学科）から通知します。

工学部基盤工学科化学系に合格した者に対しては、高校から大学入学への移行を円滑とすることを目的とし、高校生活への影響に配慮しながら入学前教育を実施します。入学前教育では、対面（あるいはWeb会議システム）による仲間づくり、及び大学での学修につながる基礎的な授業を行い、遠隔地からの参加も可能としています。複数回の実施を計画しており、第1回目を令和8年12月下旬頃を実施する予定です。詳細は合格者に対して、学部から通知します。

12 合格者への諸注意

(1) 大学入学共通テストを課す学部・学科等の合格者は、「国公立大学入学確認票」を入学手続時に提出する必要があります。

(2) 総合型選抜A（一般）・（特別）で合格した者は、原則として入学辞退は認められません。

ただし、特別の事情があり入学を辞退する場合は、令和9年2月17日（水）までに「入学辞退願」（任意様式）を提出し、必ず許可を得なければなりません。

(3) 総合型選抜A（一般）・（特別）による合格者が、本学に入学手続を完了したときは、他の国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）を受験しても合格者となりません。

（「総合型選抜の辞退を許可された者」でなければ、他の国公立大学を受験してもその合格者とはなりません）

（※公立大学協会ホームページ（https://www.kodaikyo.org/?page_id=17050）参照）

(4) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限り、総合型選抜A（一般）・（特別）の合格及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

13 入学手続

(1) 手続期間

データサイエンス経営学部	データサイエンス経営学科	令和9年2月16日（火）・17日（水） （ただし、17日は17時までに必着とします）
地域デザイン科学部	コミュニティデザイン学科	令和9年2月16日（火）・17日（水） （ただし、17日は17時までに必着とします）
	建築都市デザイン学科 社会基盤デザイン学科	令和8年12月21日（月）・22日（火） （ただし、22日は17時までに必着とします）
共同教育学部	全ての分野	令和8年12月21日（月）・22日（火） （ただし、22日は17時までに必着とします）
工学部	基盤工学科	令和8年12月21日（月）・22日（火） （ただし、22日は17時までに必着とします）
農学部	フロンティア食品科学科 生物生産イノベーション科学科 環境システム科学科 エコロジカル社会経済学科	令和8年12月21日（月）・22日（火） （ただし、22日は17時までに必着とします）

※入学手続期間内に必ず手続を完了させてください。入学手続を完了しない場合、本学及び出願した他の国公立大学への入学が認められなくなりますのでご注意ください。

(2) 入学手続時に必要な納付金等

ア 入学料 282,000 円

※1 入学料は予定額ですので、改定されることがあります。

※2 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ TOEIC IP テスト受験料、学生教育研究災害傷害保険及び賠償責任保険料等（4年間分）
12,400 円〔令和8年4月現在〕

(3) 入学後に必要な諸経費

ア 授業料 535,800 円（年額）

※1 授業料は予定額ですので、改定されることがあります。

※2 在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※3 授業料は、半期分（267,900 円）をそれぞれ指定された銀行預金口座からの自動引落としによる口座振替の方法で納入することになります。（前期分授業料口座振替日は5月下旬）

イ 教科書代 自己負担となります。

ウ 実験・実習費 自己負担となることがあります。

(4) マイナンバーカードの使用について

宇都宮大学では、令和3年度入学者からマイナンバーカードを図書館での館外貸出や夜間休日等の本学建物への入棟の際などに活用しています。詳細については、本学ホームページ「<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/convenient/campuslife/gakuseisyo.php>」をご確認ください。

なお、マイナンバーカードの取得には、1～2か月程度かかりますので早めに手続きをお願いします。マイナンバーカードの申請方法等については、地方公共団体情報システム機構のマイナンバーカード総合サイト「<https://www.kojinbango-card.go.jp/apprec/>」をご確認ください。

(5) その他

① 入学手続等に関する書類は、「合格通知書」送付の際に同封します。

② こども性暴力防止法施行に伴うお知らせがあります。共同教育学部・農学部で教員免許状の取得を考えている方は、必ず下記ホームページ URL を確認してください。特に、共同教育学部は卒業要件に関係しますので、内容を十分に理解の上、出願してください。

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/information/admissions/docs/kodomo.pdf>

14 その他

(1) 一般選抜等への出願

本学の総合型選抜A（一般）の出願者は、総合型選抜A（一般）を除く本学及び他の大学の入学者選抜にも出願できます。ただし、共同教育学部に出願した者は、本学の学校推薦型選抜において共同教育学部に出願することはできません。なお、他の大学に出願する際は、志望する大学の出願要件等に留意してください。

本学の総合型選抜A（特別）の出願者は、他の入学者選抜にも出願できます。ただし、総合型選抜A（一般）については、本学の同じ学部・学科・系のみ併願可能で、両方とも一定の基準を満たした場合は、総合型選抜A（特別）の合格者としてします。その他の選抜との併願は、原則として総合型選抜A（一般）に準じます。

本学の学生募集要項は、学校推薦型選抜は令和8年9月上旬から、総合型選抜B・C・D及び私費外国人留学生選抜は令和8年10月中旬から、一般選抜は令和8年11月上旬から公表する予定です。

(2) 受験者に対する宿泊のあっせんは行いません。

(3) 総合型選抜A（一般）・（特別）の志願状況は9月15日（火）から9月23日（水）の午後5時までホームページ「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/syutugan.html>」において公表します。

(4) 総合型選抜A（一般）・（特別）に関して不明な点は、次に照会してください。

〒321-8505 宇都宮市峰町 350

宇都宮大学学務部入試課 TEL 028 (649) 5112

※入学試験に関する問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。

※受付時間：平日 9:00～17:00

15 令和8年度総合型選抜A（一般・特別）入学者選抜状況

学部名	学科・課程・系・分野			試験区分	募集人員	志願者	第1次 選考 合格者	第2次 選考及び 入学試験 受験者	合格者	入学者	
データサイエンス 経 営 学 部	データサイエンス経営学科			一 般	7	25		24	9	9	
				計	7	25		24	9	9	
地域デザイン科学部	コミュニティデザイン学科			一 般	7	30	16	16	8	8	
	建 築 都 市 デ ザ イ ン 学 科			一 般	3	14		13	3	3	
	社 会 基 盤 デ ザ イ ン 学 科			一 般	5	11		11	5	5	
				計	15	55	16	40	16	16	
共 同 教 育 学 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	教 育 人 間 科 学 系	教 育 分 野	一 般	3	12		12	4	4	
			教育心理分野	一 般	2	6		5	1	1	
			特 別 支 援 教 育 分 野	一 般	5	8		8	5	5	
		人 文 社 会 系	国 語 分 野	一 般	2	8		8	3	3	
			社 会 分 野	一 般	2	6		6	2	2	
			英 語 分 野	一 般	2	2		2	2	2	
		自 然 科 学 系	数 学 分 野	一 般	5	7		7	5	5	
			理 科 分 野	一 般	5	6		6	3	3	
			技 術 分 野	一 般	3	1		1	1	1	
		芸 術 活 動 ・ 系	音 楽 分 野	一 般	3	7		7	3	3	
			美 術 分 野	一 般	2	8		8	2	2	
			保 健 体 育 分 野	一 般	3	15		15	3	3	
			家 政 分 野	一 般	2	2		2	1	1	
					計	39	88		87	35	35
		工 学 部	基 盤 工 学 科	化 学 系	一 般	専 願	8	12		12	6
併 願					2		2				
特 別 専 願	若干名				0		—	0	0		
機 械 ・ 情 報 電 子 系	一 般			専 願	5	11	11	11	4	4	
	併 願				1		1				
	特 別 専 願			若干名	1		1	0	0		
			一 般	専 願	13	23	11	23	10	10	
			併 願		3		3				
			特 別 専 願	若干名	1		1	0	0		
			計	13	27	11	27	10	10		
農 学 部	フロンティア食品科学科		一 般	専 願	3	12	10	10	3	3	
			併 願		0		—				
			特 別 専 願	若干名	0		—	—	—		
	生物生産イノベーション科学科		一 般	専 願	5	24	22	22	5	5	
			併 願		0		—				
			特 別 専 願	若干名	0		—	—	—		
	環 境 シ ス テ ム 科 学 科		一 般	専 願	6	10		10	6	6	
			併 願		0		—				
			特 別 専 願	若干名	0		—	—	—		
	エコロジカル社会経済学科		一 般	専 願	5	13		13	5	5	
			併 願		0		—				
			特 別 専 願	若干名	0		—	—	—		
				一 般	専 願	19	59	32	55	19	19
				併 願		0		0			
特 別 専 願				若干名	0		0	0	0		
計				19	59	32	55	19	19		
合 計				一 般	専 願	93	250	59	229	89	89
				併 願		3		3			
				特 別 専 願	若干名	1		1	0	0	
				計	93	254	59	233	89	89	

16 試験場案内図

◎電車

● J R 東北新幹線		
東京駅	----- 約 1 時間 -----	宇都宮駅
仙台駅	----- 約 1 時間 20 分 -----	
● J R 宇都宮線 (快速列車/普通列車)		
上野駅	----- 約 1 時間 30 分/約 2 時間 -----	
● 東武日光・宇都宮線		
浅草駅	----- 約 2 時間 -----	東武宇都宮駅

◎高速バス

● 関東自動車		
成田空港 (第 2 ターミナル)	----- 約 2 時間 50 分 -----	宇都宮駅
羽田空港 (第 2 ターミナル)	----- 約 2 時間 50 分 -----	



【峰キャンパス】データサイエンス経営学部・共同教育学部・農学部試験場 (J R 宇都宮駅から約 2.2 km)

- J R 宇都宮駅西口から
関東バス (14 番乗り場) 真岡行、益子行、ベルモール行、星の杜中学校・高等学校行
乗車約 10 分「宇都宮大学前」下車 徒歩 1 分
- J R 宇都宮駅東口から
L R T 全ての便 乗車約 6 分「峰」下車 徒歩 12 分
関東バス (3 番乗り場) ベルモール行、卸団地循環線 乗車約 10 分「宇都宮大学前」下車 徒歩 1 分
- 東武宇都宮駅から
関東バス (1 番乗り場) 真岡行、益子行、ベルモール行、星の杜中学校・高等学校行
乗車約 20 分「宇都宮大学前」下車 徒歩 1 分

【陽東キャンパス】地域デザイン科学部・工学部試験場 (J R 宇都宮駅から約 4.2 km)

- J R 宇都宮駅西口から
関東バス (14 番乗り場) 真岡行、益子行、ベルモール行、星の杜中学校・高等学校行
・ベルモール行、経由の便 乗車約 15 分「工学部西」下車 徒歩 2 分
・その他の便 乗車約 15 分「工学部前」下車 徒歩 6 分
- J R 宇都宮駅東口から
L R T 全ての便 乗車約 10 分「宇都宮大学陽東キャンパス」下車 徒歩 9 分
関東バス (3 番乗り場) ベルモール行
・乗車約 10 分「工学部西」下車 徒歩 2 分
・乗車約 10 分「工学部前」下車 徒歩 6 分
- 東武宇都宮駅から
関東バス (1 番乗り場) 真岡行、益子行、ベルモール行、星の杜中学校・高等学校行
・ベルモール行、経由の便 乗車約 25 分「工学部西」下車 徒歩 2 分
・その他の便 乗車約 25 分「工学部前」下車 徒歩 6 分

社会基盤デザイン学科のプレゼンテーション内容である 「地域社会貢献活動」について

地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科の総合型選抜A（一般）の試験では、受験者自らが行った、あるいは参加した「地域社会貢献活動」をテーマとしたプレゼンテーションを行ってもらいます。プレゼンテーションの内容については、以下の説明を参考に作成してください。なお、地域社会貢献活動の内容は、課外活動において行った活動内容だけでなく、「総合的な学習の時間」内において実施した内容を用いて、報告書を作成しても構いません。

1. 総合型選抜A（一般）で求められる人物像

社会基盤デザイン学科の求める学生像（アドミッション・ポリシー）は、

- ① 社会基盤の専門分野を学ぶ上での基礎となる高等学校までの科目の学習内容を十分理解している人
 - ② 高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力を備えている人
 - ③ 社会基盤の専門分野に興味と関心があり、科学的、論理的に思考し、判断や表現ができる人
 - ④ 学習の熱意や意欲及び行動力をもつ人
 - ⑤ 社会全体の利益のために奉仕できる責任感と国内・海外の様々な地域の課題解決のためにグローバルに活躍する意欲がある人
 - ⑥ 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度及びそのためのコミュニケーション力が身についている人
- であり、特に総合型選抜A（一般）では、以下の内容について主眼を置いて試験を実施します。

社会基盤デザイン（インフラ整備、土木工学）に関心があり、社会基盤や地域環境、自然環境など自地域住民の住む環境を“より良いものにしたい”と考えて自ら行動できる者

上記の内容を審査するために受験者が行った「地域社会貢献活動」のプレゼンテーションを行ってもらいます。ただし審査は、プレゼンテーションだけでなく、他の書類も考慮して進めます。

2. 「地域社会貢献活動」とは

- ▷ 地域や学校のための何かしたことがあれば、それが「地域社会貢献活動」です。
- ▷ 生徒会活動やクラブ活動、クラスや授業での活動など、学校生活を通じてできる範囲でかまいません。「学校という社会」での活動も含まれます。
- ▷ 「NPOに参加して活動した。」とか「地域おこしの活動に参加して表彰された。」など、非常に高度な内容でなくても、よいです。もちろん、そのような経験もOKです。
- ▷ 活動の内容そのものよりも、“活動を通じて何を学んだか”、“今後どのようにしたいか”、“自分は何をしたいか”を自分の言葉でしっかり書くことがもっとも大切です。

※地域社会貢献活動は、実施時期や期間を限定していませんので、2020年3月以降に活動できていない場合でも問題ありません。また、活動について課外活動の内容に限定せず、「総合的な学習の時間」等の授業時間内において実施した内容をもって地域貢献活動としても問題ありません。

※よくわからないときは、遠慮なく後述の「問い合わせ先」に相談してください。

3. 「地域社会貢献活動」の例

具体的な事例としては、以下のようなものも考えられます。あくまでも例なので、これにとらわれず、自由な発想で、地域あるいは学校でみんなのためにしたことを“一つ” プレゼンテーションのテーマとして選定してください。

地域での取り組みとしては、以下のようなものも含まれます。

- (A 1) 町内会で道路の環境美化活動に参加した。
- (A 2) 町内会で、沿道に花を植える「花いっぱい運動」に参加した。
- (A 3) 地域のサッカークラブの活動として、小中学校のスポーツ指導をした。
- (A 4) 地域のお祭りに、スタッフとして参加した。
- (A 5) 地域の防災（防犯、高齢者支援、……）のための活動に参加した。
- (A 6) 地域の博物館（図書館、公民館、……）の活動に、ボランティアで参加した。

また学校での取り組みとしては、以下のようなものも含まれます。

- (B 1) 生徒会活動で近隣周辺の清掃活動を行った。
- (B 2) 文化祭で、地域の人々と関わる活動をした。
- (B 3) 学校の活動の一環で、地域の行事に参加した。
- (B 4) 授業で、地域の河川の様子を調べて、河川を汚さないための工夫を発表した。
- (B 5) クラブ活動で、意見を出し合って練習の仕方を工夫し、活動成果の向上に貢献した。
- (B 6) 文化祭の実行委員として、クラスや部活動の場所・時間の割当などを調整した。

この他、「ホストファミリーとして留学生を迎え入れ、日本や地域のことを理解してもらった。」など、家庭内も含め、受験者が学校内外の社会や人々のために“より良くしよう”とした活動や経験についてプレゼンテーションのテーマとしてください。なお、部活動やサークルにより当てはまる活動内容が複数ある場合でも、代表となる経験活動の一つに限って選定し、複数の活動内容を発表内容としないよう注意してください（活動内容を複数選定しても評価対象としません）。

4. プレゼンテーションの内容

プレゼンテーションの発表内容は、自分の実施した活動や経験一つを挙げて、必ず以下の項目に従ってプレゼンテーション原稿（スライド）を作成してください。

- I. どのような活動を行ったか（場所、期間も含みます）。
- II. その動機は何であったか。
- III. 活動して感じた問題点や改善すべき点は何か。
- IV. それを解決するには何が必要だと思うか。
- V. この経験の全体的な感想。
- VI. 将来どのような形で、社会に貢献していきたいか（大学卒業後のことも含みます）。

について各項目の内容をわかるようにプレゼンテーション原稿（スライド）を作成してください。

なおプレゼンテーションを行う「地域社会貢献活動」の内容は、出願時に提出する「地域社会貢献活動のタイトル・概要票」と同一のものとし、タイトルや内容を変えることはできませんので、注意してください。

※出願時のタイトル、内容を試験時に変更する場合は事前にご相談ください。

5. 選考当日における「プレゼンテーション」について

試験は面接、口頭試問と合わせ、前述の通り地域社会貢献活動に基づくプレゼンテーションを行っていただきます。プレゼンテーション原稿（スライド）を作成するにはマイクロソフト社の「パワーポイント」というソフトウェアを使用することが望ましいですが、同社の「ワード」などの文書作成ソフトを工夫して使用しても構いません。作成したプレゼンテーション原稿のファイルを最終的にはPDF形式のファイルにして、それを1ページずつスクリーンに映しながら、プレゼンテーションをしていただきます。なお、総合型選抜A（一般）募集要項中に記載あるとおり、プレゼンテーションソフトは、最新版 Adobe Acrobat Reader のみとしています。PDF以外の形式ファイルによる発表は一切認めません。

※試験会場にファイルを持参する際は必ずPDFファイルに変換しPDFファイルのみ持参してください。

試験は、ソフトウェアの使い方を審査するものではなく、あくまでも発表の内容について審査するものです。ソフトウェアの使い方は、ごく初歩的なものでかまいません。プレゼンテーションに当たっての熱意、姿勢、審査員の質問に対する受け答えが重要になります。

試験で行われる面接内の口頭試問は、プレゼンテーションの内容とは関係ありません。口頭試問は、大学における理工学教育を受けるための基礎能力把握の為、数学、物理の理解度を確認するためのものです。

不明な点は遠慮なく、後述の「問い合わせ先」に相談してください。

6. 受験者待機室における諸注意事項

- ・試験日は、受験者数によっては、集合時間から3、4時間程度待機をして頂くこともありますので、受験者待機室は“飲食可”とします。飲み物や軽食を準備したい受験者は、事前に準備し会場に持参してください（飲食で出たゴミは、持ち帰りをお願いします）。
- ・ただし、一旦受験者待機室に入室後には、特別の理由がない限り、試験終了後まで受験会場（受験者待機室、試験室、プレゼンテーション練習室）からの外出は認められませんので、途中で購入することはできません。
- ・受験者は、受験番号順に試験室にて選考を受けることとなりますが、受験者待機室の他にプレゼンテーションの練習をするための練習室を設けます（練習用パソコン配置有り）。練習室の利用方法及び利用時間は、当日係員が指示しますので指示に従ってください。
- ・受験会場（受験者待機室、試験室、プレゼンテーション練習室）では、携帯、スマートフォン、パソコン（個人）など全ての電子機器の使用は認められません。入室後は全て電源を切ってカバンの中にしまってもらい、面接試験終了まで使用できませんのでご注意ください。

7. 出願時における提出書類の取り扱いについて

調査書等提出された全ての書類は、面接審査を効果的に進めるための基礎資料として活用します。

8. 問い合わせ

社会基盤デザイン学科の総合型選抜A（一般）の審査内容に関する質問は、「問い合わせ先」に相談してください。特に、受験者自らが経験した内容が地域社会貢献活動にあてはまるかどうかは重要なので、疑問がある場合には遠慮なく相談してください（一部、回答できない内容もあるので、その際はご容赦ください）。

「問い合わせ先」

国立大学法人 宇都宮大学 陽東キャンパス事務部 地域デザイン科学部係

〒321-8585 栃木県宇都宮市陽東7-1-2

TEL:028-689-6231 FAX:028-689-6009

E-mail:rdo@a.utsunomiya-u.ac.jp

栃木県の高校生の皆さんへ

入学応援奨学金（予約型奨学金）のご案内

宇都宮大学では、本学への入学を希望しながら経済的理由により進学を断念せざるを得ない栃木県内の高校生に対して、選考の上、入学時に必要となる学資の一部を給付型奨学金として支給する制度を設けています。

※掲載時点の情報です。申請の際には最新の奨学金募集要項をご確認ください。

◆申請資格（次の全てに該当する方）

1. 令和8年度に栃木県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）若しくは中等教育学校を卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を修了見込みの者
2. 令和9年4月に本学学部正規課程の1年次に入学する予定の者（外国人留学生を除く。）で、本学に強く入学を志望する者
3. 世帯の年間収入が500万円以下である者
4. 令和9年度の総合型選抜A（一般）・（特別）、学校推薦型選抜又は一般選抜（前期・後期）に出願し、合格した場合には入学することを確約できる者

※注：申請資格の3については、令和8年度実績であり、今後変更となる場合があります。

具体的な申請資格については、必ず「入学応援奨学金（予約型奨学金）募集要項」でご確認ください。

◆支給額

30万円（一時金）

◆採用予定者数

20人程度

奨学金の要項及び申請用紙は、本学ホームページを参照ください。

<https://www.utsunomiya-u.ac.jp>

宇都宮大学ホームページ トップ→受験生の方→学費免除・奨学金制度

【申請から給付までのスケジュール】

令和8年

9月下旬～10月上旬（予定）（消印有効） 申請受付期間

11月末（予定） 内定者決定通知

令和9年

4月 受給者決定、奨学金支給

【奨学金に関する問い合わせ先】

宇都宮大学学務部学生支援課学生支援係

TEL 028-649-5101

※在学する学校を経由して申請してください。入学試験出願書類に同封できません。



宇都宮大学

受験生ポータルサイト

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/>

又は右図二次元バーコードでご確認ください。



宇 都 宮 大 学 入 試 課

〒321-8505 宇都宮市峰町350

T E L 0 2 8 (6 4 9) 5 1 1 2